



NAGOYA CITY UNIVERSITY  
Faculty of Pharmaceutical Sciences



名古屋市立大学 薬学部

大学院薬学研究科



## CONTENTS

- 1 理念・目的 アドミッションポリシー
- 2 薬学部の概要
- 3 名古屋市立大学薬学部に入學するには
- 4 卒業研究を行う研究室
- 5-7 進路
- 8 薬学部の先輩たち
- 9-10 キャンパス案内
- 11 キャンパス周辺
- 12 学生生活Q&A
- 14 生命薬科学科
- 15-17 入学から卒業まで
- 18-19 大学院進学について
- 20 卒業生からのメッセージ
- 22 薬学科
- 23-28 入学から卒業まで
- 29 大学院進学について
- 30 卒業生からのメッセージ

## 理念・目的

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究能力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

## アドミッションポリシー

薬学部では次のような人を求め、入学を歓迎します。

### ◆薬学への強い意欲と探究心を持った人

科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。

### ◆医療・薬学への使命感と倫理観を持った人

薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。

### ◆科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

### ◆国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

### ◆生命科学としての薬学への向学心を有する人(生命薬科学科)

将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。

### ◆医療人としての自覚を持てる人(薬学科)

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

### ◆大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

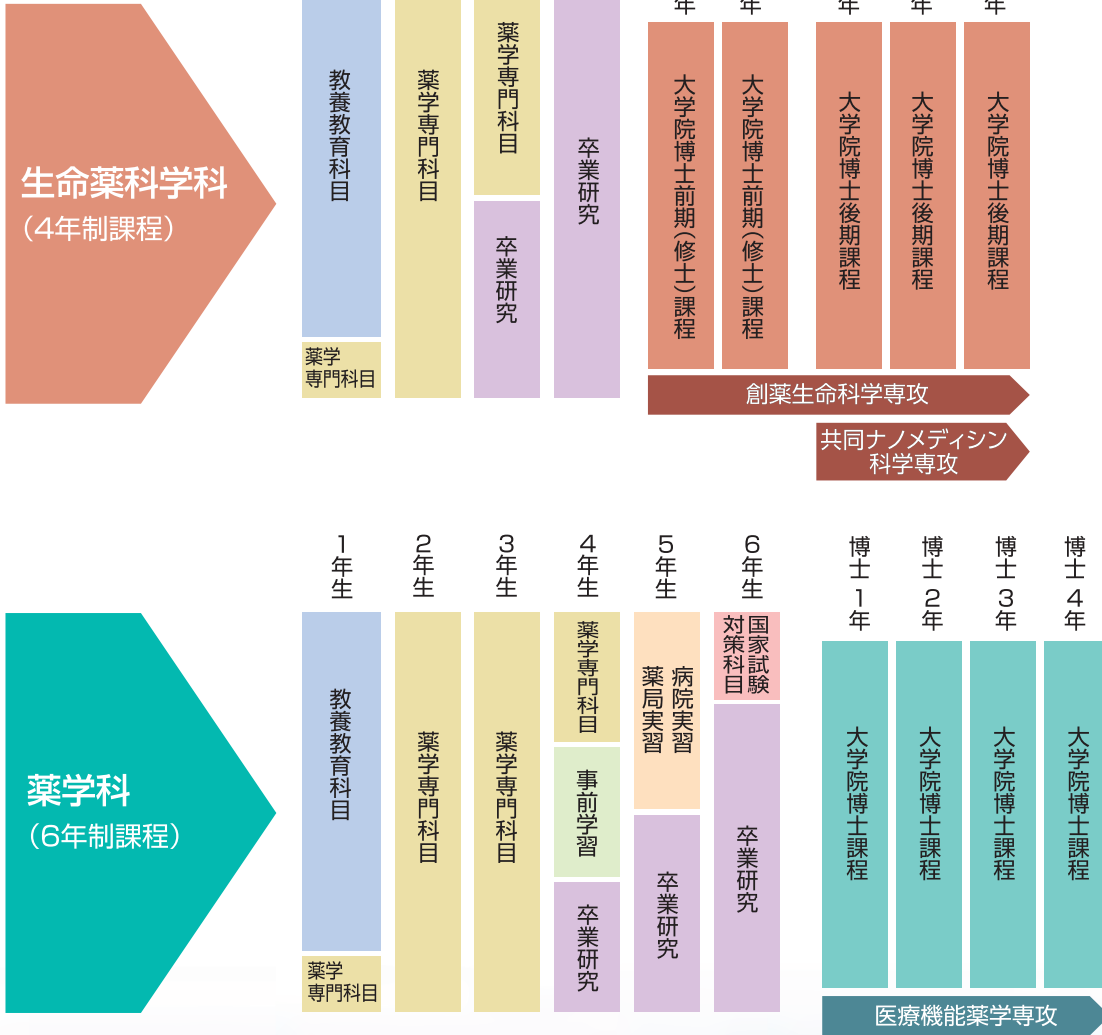


名古屋市立大学薬学部で、あなたの将来を切り拓いてみませんか？

POINT

- 名古屋市立大学薬学部には、生命薬科学科と薬学科の二つの学科があります。
- 生命薬科学科では、薬と医療を中心とした科学を幅広く学び、研究の基礎を身につけます。
- 薬学科では、薬剤師に必要な知識・技能を身につけ、基礎的な研究能力も涵養します。

二つの学科の  
教育課程と大学院



## 名古屋市立大学薬学部に入学するには

入学試験は3種類あります。みなさんの適性に合う試験を選んでください。  
もちろん全て受験することもできます。

	出願時期	試験日	合格発表	試験科目	募集定員	備考
学校推薦型 選抜A	11月上旬	11月下旬	12月上旬	小論文及び面接	生命薬科学科4名 薬学科6名	1高校からの推薦 人数に制限はありません。
学校推薦型 選抜B	大学入学共通テストの 次の日から5日間	2月上旬	2月中旬	面接	生命薬科学科8名 薬学科15名 名古屋市高大接続推薦枠各学科2名を含む	
公立大学 中期日程	1月下旬～ 2月上旬	3月8日	3月下旬	英語、数学、化学	生命薬科学科38名 薬学科44名	

### 幅広い学びで豊かな人間形成を育む教養教育科目

1年生は、滝子キャンパスにおいて教養科目を中心に学習します。名古屋市立大学は7学部からなる総合大学であり、教養科目にも幅広いメニューが用意されています。また、英語教育には特に力を入れており、英語科目の6割以上がネイティブスピーカーによる少人数授業です。さらに、英語検定やTOEICなどの試験で一定の成績を得た場合、正式な単位として認定されます。他にも、ボランティア活動による単位認定制度もあります。

### 入学試験に関して、よくあるご質問と回答

**Q1** 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願しているのですが、名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Aにも出願できますか？

**A1.** できません。本学部の学校推薦型選抜Aに出願する場合、合否発表の前に他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。

**Q2** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Aで不合格になった場合、他の国公立大学に出願できますか？

**A2.** できます。合格発表は12月なので、不合格となった場合は他の国公立大学に出願できます。

**Q3** 学校推薦型選抜に合格した場合、辞退して他大学または他学部に進学することはできますか？

**A3.** できません。合格した場合に入学を確約できる方だけが出願できます。

**Q4** 学校推薦型選抜Aにおける、調査書、小論文、面接の点数比率や採点基準は公表されていますか？

**A4.** 公表しておりません。

**Q5** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと、中期日程試験の両方に同時に出願することはできますか？

**A5.** できます。

**Q6** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと、他の国公立大学（前期・後期）に同時に出願することはできますか？

**A6.** できます。ただし、名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと他の国公立大学の学校推薦型選抜に同時に出願することはできません。

※以上は令和3年度についての場合です。入学試験制度や実施要項は変更される可能性がありますので、実際の出願に際しては事前に確認してください。

### 在校生からのメッセージ



伊藤 潤さん

生命薬科学科  
神奈川・湘南高卒

薬学部の入学試験には、学校推薦型選抜A、学校推薦型選抜B、公立大学中期日程の3種類があり、みなさんに合った試験を選んで受験することができます。本学を目指す幅広い生徒に機会のある入試方式となっていて、毎年全国各地から受験生が集まってきます。

どんな入試方式で入学しても学生生活に大きな支障はないと思います。具体的には、推薦で合格した学生と中期日程で合格した学生に全く隔たりはありません。また、高校で化学・物理を中心に学習した学生もいれば、化学・生物を中心に学習した学生もいますが、互いを助け合い、尊重して学生生活を送っています。さらに、数か月に一度「チューター会」というものがあり、少人数の生徒につき教員一人が付き、さまざまな学生生活の悩みを相談することができます。もちろん、個別に担当教員と相談することも可能です。

名古屋市立大学薬学部は少人数ゆえに指導が行き届いており、先輩・後輩のつながりも強い、和気藟々としたアットホームな雰囲気です。仲間と環境に恵まれ、充実した大学生活を送ることができる大学です。

### 在校生からのメッセージ



坂根 雅さん

薬学科  
愛知・菊里高卒

私は高校三年生の夏に名古屋市立大学薬学部を志望することを決めました。オープンキャンパスでお話した先輩方に強い憧れを抱き、受験チャンスを増やすため推薦入試を受験しました。大学では新しく学ぶことばかりで、入学方式を問わず、勉強についていけないなどということはありません。生物を充分勉強せずに薬学部に入って大丈夫なのか…と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、大丈夫です。高校時代、私は生物をあまり勉強していませんでしたが、入学後に、薬学に必要な生物の基礎知識を身につけることができました。また、勉強に行き詰まってもクラスの友達はもちろん、先生や先輩方が助けてくれます。薬学部内での結びつきは強く、薬学祭やサークルではたくさんの先輩に知り合う機会があります。先輩方に勉強について相談に乗っていただいたり、おすすめの科目やカリキュラムの組み方を教えてもらいました。私はアルバイトの紹介など、生活面でもアドバイスをいただいています。いつでも相談できる先生や先輩方が身近にいる環境なので、初めてのことが多い大学生活も安心して有意義に送ることができます。



## 卒業研究を行う研究室

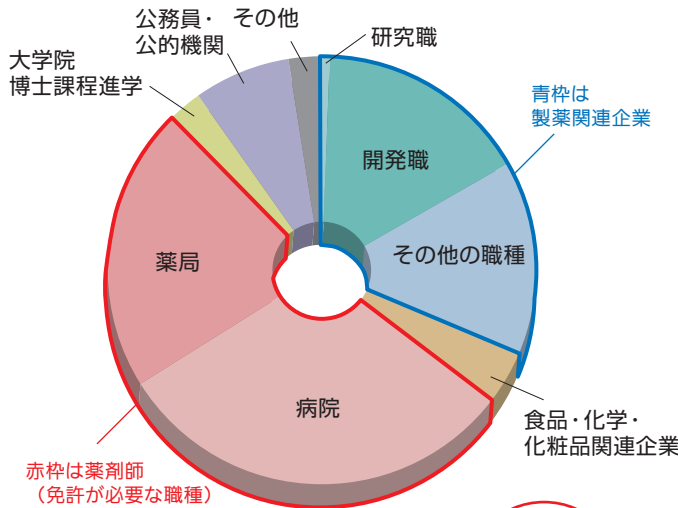
- 生命薬科学科では3年後期から、薬学科では4年前期から、以下のいずれかの研究室に所属して卒業研究を行います。

研究室名	関連する疾患・キーワード	主な研究内容
薬化学	創薬化学(有機化学+生物科学)、 光治療薬、光検査薬、抗がん剤	新しい治療薬候補の探索・分子設計・化学合成・生物活性評価 光科学と有機化学に基づいた生命現象の化学的理解
精密有機反応学	革新的医薬創製、新機能分子、 アルツハイマー病	従来ない医薬創製法、及び新発想でナノ科学へ貢献する分子の開発 酵素機能解明、神経疾患や感染症、酸化ストレスの治療薬への挑戦
薬品合成化学	有機合成化学、天然物化学、 生物活性物質、分子骨格構築	特異な構造様式を持つ生物活性物質の全合成研究 新反応・方法論の開発
機能分子構造学	有機分子構築、 新規有機反応開発	薬物候補分子群の効率的な合成に関する研究、複数個の原料分子を 一挙に連結する反応(ドミノ反応)の開発と応用
生体超分子 システム解析学	アレルギー、神経疾患、 バイオイメージング	アレルギー疾患の発症機構の解明と抗アレルギー薬開発への展開 神経ネットワークの形成機構の解明と神経疾患の治療への応用
コロイド・高分子 物性学	ナノ粒子、ソフトマター、 自己組織化構造、診断薬	物理化学的手法によるソフトな系の実験、理論、計算科学的な研究 微粒子の集合構造とセンシングおよび医薬分野への応用
生命分子構造学	アルツハイマー病、 筋ジストロフィー、抗体医薬	脳の形成と病態にかかわる生命分子の構造と機能の研究、 バイオ医薬品の高機能化を目指した創薬研究
分子生物薬学	細胞内オルガネラ、 神経、免疫	細胞内オルガネラの制御機構と生理機能の解明 神経系や免疫系の恒常性維持機構の研究
薬物送達学	ドラッグデリバリーシステム(DDS)、 ナノメディシン、各種製剤	各種がん等への標的化ナノDDSの創製、経肺投与DDSの創製
生薬学	生薬、漢方薬、機能性食品、 植物バイオテクノロジー、内生糸状菌	漢方薬をはじめとする天然由来薬物の作用機序・有効成分の解明、 植物・微生物含有有用化合物の単離・生産
衛生化学	免疫制御、炎症、微生物、 感染症	疾患に関与する炎症反応と微生物に対する感染防御機構の解明 微生物由来因子の役割と治療への応用研究
遺伝情報学	RNA医薬、がん、神経変性疾患、 ウイルス性疾患、遺伝子治療	遺伝情報であるRNAの研究に基づいた細胞増殖、老化、 不死化の解明、人工RNAを用いた遺伝子治療、ウイルス性疾患の治療
細胞分子 薬効解析学	イオンチャネル、循環器系疾患、 分子イメージング	筋肉や神経の機能を制御するイオンチャネルと各種疾患の関係解明 治療に有効なイオンチャネル作用薬の創製
病態生化学	精神神経疾患、高次脳機能障害、 生体膜脂質、神経細胞生物学	脳の発達・機能・病態における遺伝子・タンパク質・脂質の機能解明 遺伝子改変技術を利用した、脳の機能と病態の研究
薬物動態制御学	代謝、生活習慣病、 ドラッグデリバリー	代謝関連物質の体内動態機構と生理・病態との関わり 代謝関連物質の生活習慣病治療薬としての活用、デリバリー、用法
病態解析学	脳保護治療、動脈硬化、 骨粗鬆症	グリアによる脳保護治療 動脈硬化症発症の初期バイオマーカーの探索
細胞情報学	がん、糖尿病、炎症、 ストレス	環境変化に対する細胞の反応とその異常に起因する疾患の研究 がんの生物学的特性の解明と新規分子標的薬の開発研究
神経薬理学	概日周期と睡眠・覚醒制御機構、 神経障害性の痛み	体内時計と眠りを制御する脳のメカニズムの解明 持続する神経障害性の痛みを和らげる鎮痛薬の研究
医薬品安全性 評価学	副作用、医療情報、 バイオマーカー	医薬品による副作用の発症に関連するバイオマーカーの探索 人工知能を用いる医療情報の分析
病院薬剤学	排尿・性機能障害、 有機酸代謝異常症	臨床に直結した研究テーマの実践、名古屋市立大学病院の医局・薬剤 部との共同研究、薬剤師の視点で取り組む臨床研究
臨床薬学教育研究 センター	ヒトiPS細胞、代謝遺伝疾患、 薬剤師教育、薬局	ヒトiPS細胞の各細胞への分化と医薬品開発研究への応用 薬剤師教育方法、薬局との共同研究

# 進路

平成29年～令和元年度

## 薬学科卒業生の進路



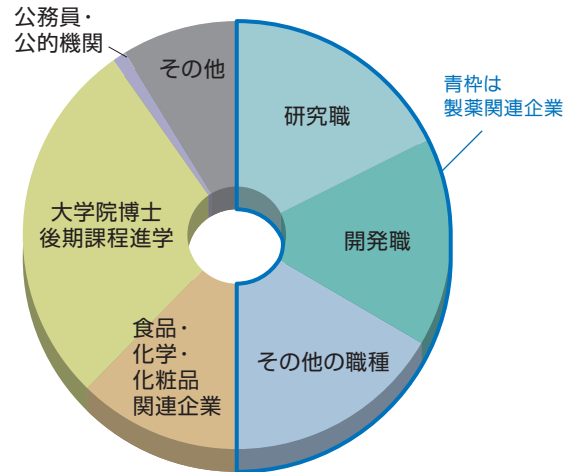
病院や保険薬局の他、さまざまな分野に就職しています。

進路決定率  
**100%**

平成29年～令和元年度

## 博士前期(修士)課程修了者の進路

※名古屋市立大学薬学部卒業生のみ



大学院修了者のうち企業への就職を希望する学生の大半が製薬関連企業の研究職または開発職などに就職します。

進路決定率  
**100%**

製薬関連企業	武田薬品工業、第一三共、アステラス製薬、中外製薬、大日本住友製薬、塩野義製薬、イーザイ、協和キリン、日本新薬、小野薬品工業、キッセイ薬品工業、興和、大正製薬、大峰堂薬品工業、ファイザー、バイエル薬品、プリストル・マイヤーズスクイブ、ノボルディスクファーマ、日本ベーリンガーインゲルハイム、旭化成ファーマ、JCRファーマ、MSD、IQVIA、アロエ製薬、日医工、ヤクルト、マルホ、イービーエス、シミック、リニカル、シーポップ、ほか
病院薬剤師	名古屋市立大学病院、名古屋大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、浜松医科大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、大阪市立大学医学部附属病院、千葉大学附属病院、国立病院機構東海北陸グループ、名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院、名古屋セントラル病院、安城更生病院、名古屋記念病院、トヨタ記念病院、一宮市立市民病院、総合犬山中央病院、江南厚生病院、岡崎市民病院、刈谷豊田総合病院、市立伊勢総合病院、浜松医療センター、大津赤十字病院、横浜市東部病院、横浜市立みなと赤十字病院、諏訪赤十字病院、長野市民病院、ポートアイランド病院、岡山赤十字病院、広島市立病院機構、聖隷浜松病院、聖隷横浜病院ほか
薬局薬剤師	スギ薬局、ウエルシア薬局、日本調剤、スギヤマ薬品、中部薬品、ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、イオンリテール、サンドラッグ、サッポロドラッグ、ファーマシー薬局、ミック、協和ケミカルほか
食品・化学・化粧品関連企業	日本ハムファクトリー、日立化成、ニチパン、ニッポンジーン、オリヒロブランド、ミリオナ化粧品、一丸ファルコス
公務員・公的機関	厚生労働省、名古屋市、愛知県、東京都、山梨県、三重県、奈良県、兵庫県、大阪府、和歌山県
大学院博士課程進学	名古屋市立大学大学院、大阪大学大学院
その他	ヤフー、PwCコンサルティング

製薬関連企業	第一三共、アステラス製薬、大塚製薬、中外製薬、塩野義製薬、小野薬品工業、興和、大正製薬、大鵬薬品工業、東和薬品、日本点眼薬研究所、千寿製薬、ゼリア新薬工業、健栄製薬、三和化学研究所、アッヴィ、バイエル薬品、日本臓器製薬、デンカ生研、マイラン製薬、ヤクルト、マルホ、陽進堂、ニプロファーマ、テルモ、EAファーマ、イービーエス、シミック、エイツアーヘルスケア、メディサイエンスプランニング、パレクセル・インターナショナル、サンブラネット
食品・化学・化粧品関連企業	旭化成、花王、日本メナード化粧品、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、日東電工、日本特殊陶業、大阪合成有機化学研究所、豊国製油、イーダブルニュートリション・ジャパン、関東化学、伊那食品工業、山田養蜂場、サーモフィッシャーサイエンティフィック
公務員・公的機関	医薬品医療機器総合機構、日本血液製剤機構
大学院博士後期課程進学	名古屋市立大学大学院、大阪大学大学院、徳島大学大学院、ニューヨーク州立大学
その他	NTTドコモ、JTL、アビームコンサルティング、WDBエウレカ、アウトソーシングテクノロジー、エスクリエイト、太陽社電気





平成29年～令和元年度

## 博士課程修了・博士号取得者の進路

※名古屋市立大学薬学部卒業生のみ

薬学科(6年制)の卒業生で、さらなる研鑽を希望する学生は、大学院博士課程(4年制)へ進学します。修了者の多くは、大学での教育・研究職や、大学病院等に就職し、指導的な役割を担います。製薬関連企業でも、薬剤師と博士号の両方の資格を活かせる職があります。

進路決定率  
100%

大学教員・研究職	名古屋市立大学
病院薬剤師	名古屋市立大学病院、国立病院機構、名古屋市東部医療センター
製薬関連企業・研究職	エーザイ、ノバルティスファーマ、塩野義製薬、花王、テクノプロ
公務員・公的機関	豊田市

平成29年～令和元年度

## 博士後期課程修了・博士号取得者の進路

※名古屋市立大学薬学部卒業生のみ

生命薬科学科(4年制)の卒業生で、博士前期課程(2年制)を修了、修士号を取得した後、さらなる研鑽を希望する学生は、大学院博士後期課程(3年制)へ進学します。修了者の多くは、大学や製薬関連企業で、教育・研究職に従事し、指導的な役割を担います。

進路決定率  
100%

大学教員・研究職	名古屋市立大学、金城学院大学、崇城大学
製薬関連企業・研究職	武田薬品工業、第一三共、日本たばこ産業
大学研究員	名古屋市立大学、京都大学、アラバマ大学



## OBからのメッセージ



### 木村 和哲 さん

名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床薬学分野 教授  
名古屋市立大学大学院薬学研究科 病院薬学分野 教授(兼務)  
名古屋市立大学病院 薬剤部長  
S55学部卒 H16博士学位取得

私は「患者さんの近くで仕事がしたい」という思いから卒業後、病院薬剤師の道を選択しました。この30年の間に病院で勤務する薬剤師の業務は大きく変わり、個々の薬剤師の能力や専門性が問われる時代となりました。がん化学療法や緩和ケア、救急医療など医療現場には薬剤師が取り組まなければならないテーマがいたる所に在ります。幸い、名市大は東海地区で唯一、附属病院、医学部、薬学部、看護学部を有し臨床薬剤師の育成にはこの上ない環境下にあります。大学1年次には、医療系学部連携早期体験学習という、医学部・看護学部の学生とグループを作りチーム医療の必要性を学びます。また、附属病院では臨床研究も薬剤師主導でいくつも立ち上がっています。平成24年度からは病棟専任薬剤師に保険点数が付くようになりました。ますます医療現場は薬剤師を必要としています。是非、この名市大薬学部で学び、患者から信頼され、医療スタッフから尊敬される薬剤師を目指しましょう。我々卒業生は全力で貴方たちを応援します。

## OGからのメッセージ



### 森 真澄 さん

西尾市民病院薬剤部  
副室長  
H2学部卒業

皆さんは、病院薬剤師がどんな仕事をしているか、御存知ですか？私が就職したころの病院薬剤師の仕事は、内服薬の調剤が中心でした。しかし今では、内服薬だけでなく注射薬も注射処方箋に基づいて取り揃えたり、特別な注射薬を無菌的に調製したりと調剤の範囲が広がりました。また、安心して治療を受けられるよう患者さんに薬の説明をしながら、副作用症状の有無や薬の効果を確認し、医師に処方の提案をすることもあります。また、他の医療職に薬の情報を伝えたり、薬物療法に関する相談を受けたりします。このようにチーム医療の一員として、薬に関するすべてに責任を持って仕事をするためには、常に知識と能力の向上が大切です。名市大では、薬剤師向けの卒業教育も行われています。他大学卒業生も受講できますが、私には新しい知識を得られるだけでなく、お世話になった先生方や友人と会える楽しみな時間です。他に名市大で学んで良かったことは、教養部で医学部や経済学部の学生と共に授業を受けたり、クラブ活動をしたりしたことです。幅広い分野で活躍している友人は、人生の宝物だと思います。皆さんも充実した学生生活を送れるように、応援しています。

## OBからのメッセージ



### 金 兌勝(キム テスン) さん

ハーブ調剤薬局(名古屋市東区)勤務  
H3学部卒業

私は必ずしも薬剤師志望ではなかったのですが、薬学部に入った事は人生の中で大きな転機になりました。それは薬学を学ぶことができた事と「漢方」との出逢いがあった事です。当時「漢方」に関する大学の講義は少なかったのですが、部活で「東洋医学研究会」に所属し、先輩から学びました。こうして漢方医学の面白さに目覚めてしまったら思考が漢方一辺倒になり、大学の勉強をそこそこに漢方にのめり込んで行きました。当時大学の友人に「金君の話はいつも漢方の事だね」と言われてしまうくらいに。何とか4年で薬学を卒業出来たあとは、進学はせずに調剤薬局に就職して、予てより部活の先輩から紹介して頂いていた、故梁哲周先生に師事し「漢方の臨床」を学びました。実践は、調剤の合間に許された個別の相談の中で身につける事が出来ました。独立して保健調剤と漢方相談を二本柱に開局しましたが、「漢方」からの出逢いはさらに続きました。一昨年に退任した愛知県薬剤師会の理事職も「漢方」がきっかけでした。10年もの間理事として活動してきたので、その活動全てが漢方に関するものでは無かったのですが、8年ほど薬剤師向けの漢方講座の講師を務めました。理事職を退いた今も、地区の薬剤師会などに漢方の講師としてお招きいただいています。薬科大学からの非常勤講師の依頼で、薬局で扱う漢方薬に関する講義も受け持っています。当薬局のスタッフの内、若手は漢方を学びたいと集まってきた薬剤師です。これほどに、名市大在学中に出逢った「漢方」は私にとって単なるスキルに留まらず、人生そのものと言って良い程の存在になってしまいました。大学時代はいろんな出逢いがあるかと思いますが、その中には人生を左右する大きな出逢いがきっとあるとは必ずしも思いません。しっかり掴んで頂きたいですね。

## OBからのメッセージ



宮島 誠さん

第一三共株式会社  
製薬技術本部 製剤技術研究所長  
H2博士前期課程修了

皆さんは、薬局で処方してもらった薬を飲む前に「この薬を飲んで大丈夫かな?」と疑問に思うことはまずないと思います。私は製薬会社のCMC部門の所属です。CMCとはChemistry, Manufacturing and Controlの頭文字をとった言葉で、皆さんに処方される薬をどのような作り方で、どのように管理すれば、有効で安全なものを提供できるかを研究し、製品化していく部門になります。新薬の種をヒトでの効果と安全性を確かめる臨床試験に使える薬(治験薬)として提供し、高い品質を保ちながら安定的に生産する方法を確立し、申請を行い、工場での生産を始めるころまで関与することになります。まさに患者さんに安心して使ってもらえる薬を作ることを実感できる部門です。新薬候補の多くはGlobalで研究開発を行っており、CMC部門もGlobal化しています。世界中の新薬を待ち望んでおられる方々に、いち早く薬を届けられるように使命感を持って仕事に取り組んでいます。薬学部では創薬から臨床現場まで幅広く学ぶことができます。また様々な形で医療に貢献する仲間が得られます。志のある高校生に皆さんには名市大薬学部で学び、卒業後は「世界の人々の健康を守る」ことに貢献することを期待しています。

## OGからのメッセージ



永井 弓子さん

アステラス製薬株式会社 開発本部  
臨床開発第3部  
H22博士前期課程修了

私は製薬会社の開発部で、新たな薬を世に送り出す事に携わっています。研究部で発見された新たな効果を持つと期待される化合物が、患者さんの病気に本当に効くのか、また副作用なく安全に飲めるのかを、「治験」を通して確認するのが私たち開発部の仕事です。私は現在、全国の医療機関を訪問し、治験に参加して頂いている患者さんのカルテを閲覧したり、担当医師と話をし、臨床現場から治験薬に関する情報を集めています。カルテに書かれた情報を見て、治験薬の効果がどう現れているかを判断したり、薬や疾患に関する医師とのディスカッションにおいては、薬学部で学んだ「薬」や「化学」、そして「医療」の専門知識が欠かせません。また、大学生時代のアルバイトや部活動、大学院時代の研究室生活での経験も、コミュニケーションを大切にしている社会生活に大きな影響を与えています。

名古屋市立大学薬学部では、薬学に関する幅広い知識を学ぶことはもちろん、様々な経験を積むことができる環境が整っています。みなさんも、大学生活という素晴らしい時間の中で、いろいろなことに挑戦し、自分らしく成長していただきたいと思います。

## OBからのメッセージ



保嶋 智也さん

名古屋市立大学大学院薬学研究所  
薬物動態制御学研究室  
H19年学部卒業 H24博士学位取得

私が名市大薬学部に入學した当初は、明確な将来像を持たず、ただ漠然と「薬剤師になればいいな」という心持ちで成績も決して良くありませんでした。そんな中、卒業研究で配属された研究室で研究の面白さに触れ、いつの間にかアカデミックの道を志し、気が付けば博士号を取得するまでになっていました。

博士号を取得した後は、学術的な視野を広げるために、米国国立環境衛生科学研究所に留学しました。そこでは、先端的な研究に触れ刺激的な日々を過ごすと同時に、常に結果を求められる厳しい世界でもありました。その後、幸いにも母校で教鞭をとる機会に恵まれました。現在も共同研究のためにカリフォルニア大学への留学の機会を与えてもらうなど、国際的な活動を続けることができています。英語が大の苦手でも内向き志向であった私ですが、以前では考えられないようなキャリアを積むことができています。同様に、多くの先輩方が、名市大での経験を糧に飛躍を遂げ社会で活躍しています。

名市大は、すでに明確な目標を抱えている人はもちろんですが、未だ将来像について思慮を重ねている人も己の可能性を見出し、その力を十分に引き出せる学び場であると思います。人生の飛躍への一歩を、名市大薬学部で踏み出してみませんか。

## OGからのメッセージ

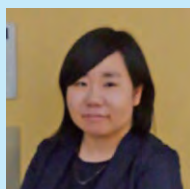


大林 恭子さん

高崎健康福祉大学薬学部薬学科  
臨床薬学研究室 教授 臨床薬学教育センター長  
S58年学部卒業 H17年博士学位取得

ここ数十年で臨床に携わる薬剤師の業務内容が変貌を遂げています。調剤室から顔のみ見えていた薬剤師が、病棟や保険薬局の店頭で患者に相対し、薬の有効性と安全性の確認のためフィジカルアセスメントをし、他の職種とチーム医療に取り組む時代となりました。病院におけるICT、NST、緩和ケア、医療安全等にはチーム医療加算が付くなど国から強く推奨されています。おのずと薬剤師には薬に対するスペシャリストとしての能力のみならず、コミュニケーション能力や多種多様な問題に対する解決能力、医療人としての人間性、幅広い素養が求められます。私はそういう能力を授業からだけでなく、名市大在学中のオーケストラ部でのチームメンバーによる音作りや薬品合成化学研究室での卒業研究における問題解決のための試行錯誤より、培ったように思います。私は市民病院、一般病院、研究所、大学病院を経て大学教員を務めていますが、どの職場においても最終目標は患者の治療への貢献です。医療人としての使命感と温かい心を持った薬剤師としての基盤を名市大で築きませんか。

## OGからのメッセージ



清田 恵子さん

医薬品医療機器総合機構(PMDA)  
H23年学部卒業 H25博士前期課程修了

私は修了後、生まれ育った東海地方を離れ、東京の独立行政法人で働いています。職場の法人は国民の健康・安全の向上に貢献することを基本理念とし、医薬品、医療機器等の審査及び安全対策、健康被害救済の三業務を主に担う日本で唯一の組織です。現在は審査部で、薬系の審査員として、同じチームの生物統計、獣医学、医学等の各領域の審査員達と一緒に協力して仕事をしています。私は、所属していた研究室の専門分野とは違いますが、主に医薬品の品質の審査を担当しており、学生時代に広く学んだことを基礎に、仕事を通して経験と知識を積み重ね業務にあたっています。

高校生の皆さんは、多岐にわたる選択肢の中からいま進路を選ぶところだと思います。私は、今振り返っても大学進学は自分の人生の中でも大きな分岐点のひとつだったと思います。若い皆さんには大きな分岐点の前に、自分は将来何をしたいのか、自分が人生の中で大事にしたいことは何なのか、どうすれば叶えられるのか、じっくり考えて満足いく進路を選んでほしいと思います。そのうえで名市大薬学部を志した皆さん、入学後は、全力で学び、遊び、楽しみながら社会に羽ばたく栄養をつけてください!



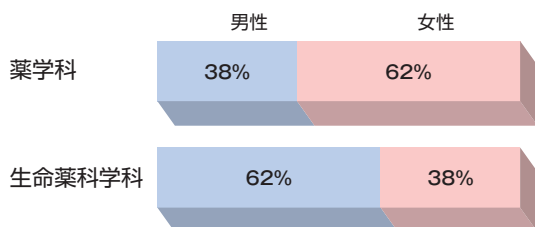


## 薬学部の先輩たち

### <在学生データ>

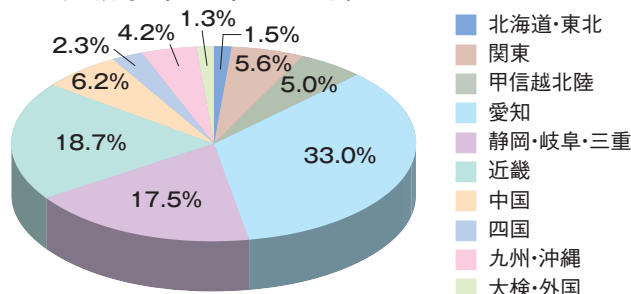
#### 在学生の男女比

薬学科は、女子学生が多く在籍しています。生命薬科学科は、男子学生が約6割を占めています。



#### 在学生の出身地

東海地方(愛知、岐阜、三重、静岡)の出身者は5割強ですが、北海道から沖縄まで全国各地より入学しており、多様性に富んだ、意欲的な学生が学んでいます。



### <クラブ・サークル活動>

名古屋市立大学には、運動系クラブ27、文化系クラブ24、同好会が19あり、それぞれ活発な活動を行っています。薬学部生の多くも、これらのクラブ、同好会に参加し、めざましい活躍をしています。

#### オーケストラ部



大西 真由 さん

薬学科  
三重・伊勢高卒

名古屋市立大学管弦楽団は週2~3回、主に滝子キャンパスで活動し、年2回の定期演奏会に向け日々練習に取り組んでいます。名市大オーケストラ部の魅力のひとつは、薬学部から他学部、他大学の学生まで、また、初心者から経験者まで、さまざまな仲間と出会い、全員で一つのことに打ち込める所だと思います。約80名の団員が在籍していますが、その半数あまりが他大学の学生です。私自身は全くの初心者でしたが、先輩方や同期が丁寧に教えてくれるおかげで少しずつ上達し、楽しく演奏できるようになりました。また、演奏会を一から作っていくのは大きなやりがいを感じられ、今しかできない貴重な経験となっています。そして、支え合えるかけがえのない同期、優しい先輩方、慕ってくる後輩たちに出会えたことは大きな財産です。大学に入った時、勇気を出して一歩踏み出したことは本当に良かったと思っています。名市大にはたくさんの部活やサークルがありますが、それぞれの特色や魅力を知れば、みなさんに合ったもの、夢中になれるものがきっと見つかると思います。ぜひ興味のあるところに参加して、その時しかない大学生活をより充実したものにしてください。

#### ハンドボール部



日置 真太郎 さん

生命薬科学科  
愛知・東海高卒

私たちハンドボール部は、滝子キャンパスの体育館で週三回活動しています。部員・マネージャーともに様々な学部の人から構成され、ハンドボール経験の長い人から大学初めの人まで様々で、日々の練習で一緒に汗を流すうちにすぐに学部や経験の差は関係なく仲良くなれます。薬学部生は年に二回ある全学の大会と、同じ年に二回ある医薬系の大会の両方に出場する事が出来、試合直前の練習日にはミーティングを開き、大会が終わるごとに打ち上げをしてメリハリをつけて大会に臨んでいます。また、冬には約二か月のオフがあり、部員の多くはこのオフ期間に長期の旅行に行っています。バイトや遊びなど、やることの多い大学生にとって週三日の練習というのはとても大変なものです。それでも長い時間を共に過ごして培った友情と、厳しい練習が実を結び接戦を制した時の喜びは何にも代えがたいものです。一度しかない大学生活で、仲間と共に汗を流し、一丸となって勝利を目指し本気で練習した日々は一生の思い出です。

#### 野球部



内山 遼太郎 さん

薬学科  
山口・徳山高卒

名古屋市立大学準硬式野球部は、週3回、田辺通キャンパスのグラウンドにて活動しています。薬学部、他学部関係なく、プレーヤー、もしくは、マネージャーとして数多く部員が所属しています。春と秋にそれぞれリーグ戦、春休みと夏休みにそれぞれ大会があります。出身も学年も学部も個性もバラバラな部員たちですが、勝利という同じ目標に向かって日々練習をしています。また、夏にはキャンプ、冬には旅行などといった様々なイベントもあります。こうしたイベントを通して、部員をより知ること、自分をより知ってもらうことができ、仲がより深まっていくのが実感できました。自分は準硬式野球部に所属したことで、先輩、後輩、同学年、どれも最高の出会いにめぐり合うことができたと思います。名古屋市立大学には、魅力的な部活サークルが他にも数多く存在します。学部にとらわれず、多くの人と交流し、大学生活をより充実したものにするためにも、自分の興味を持ったことに積極的に参加してみてください。素晴らしい出会いが待っていると思います。

#### 卓球部



中森 瑞季 さん

生命薬科学科  
兵庫・神戸女学院高等学部卒

医薬看卓球部は、約40名の部員で週二回、滝子キャンパスで活動しています。大学から卓球を始めた人も多くおり、初心者であっても、先輩が優しく教えてくれます。卓球部への活動の仕方人もそれぞれで、他大学、他学部、他学年との人脈を広げたい、卓球に打ち込みたい、など色々な目的を持った人に向う部活だと思います。練習、試合だけでなく、合宿、BBQ、旅行などのイベントもあり、充実した大学生活を送ることもできます。また、先輩や後輩、助け合える同期が薬学部だけでなく他学部にもでき、多くの人と交流によって大学生活の幅も広がります。実際、私も初心者でしたが先輩方に教えてもらい、練習をして頂くことで、試合でも少しずつ勝つことができるようになりました。さらに、他大学、他学部、他学年の友達、知り合いも増えて話すことで、卓球だけでなく様々な方面から刺激をもらっています。名古屋市立大学には夢中になれるたくさんの部活やサークルがあります。興味のあることに、ぜひたくさん積極的に参加してください。大学生活は人生で一度きりなので、後悔がないように、かけがえのない仲間を見つけて大学生活を、さらには将来をより充実したものにしてください。

## キャンパス案内



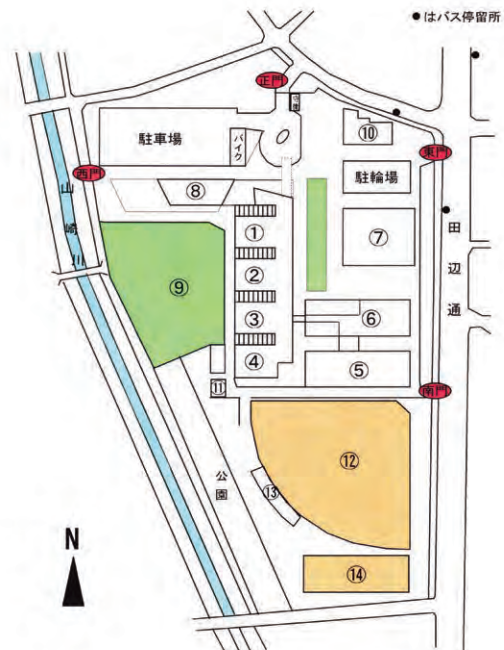
田辺通キャンパス正面

### キャンパス(田辺通キャンパス)

薬学部のある田辺通キャンパスには、講義・図書館棟(①②)、実習棟(③④)、研究棟(⑤⑥)、先端薬学研究施設・共同利用研究施設、創薬基盤科学研究センター、喜谷記念がん研究センター(⑦)、カフェテリア(⑧)、薬用植物園(⑨)、薬友会館(⑩)、といった施設があります。研究棟のすぐとなりには、クラブ棟(⑪)、野球場(⑫)、廬舎(⑬)、馬場(⑭)があります。

講義・図書館棟は、講義室と図書館(総合情報センター田辺通分館)、宮田専治記念ホールからなります。宮田専治記念ホールは、285人収容可能な大ホールで、講義や試験だけでなく、講演会などさまざまなイベントが行われます。さらに大講義室と中小の講義室が合わせて6つあります。実習棟とは全長100mに及ぶ全面ガラス張り2層吹き抜けのキャンパスモールで結ばれています。2階にある総合情報センター田辺通分館では、主に薬学・化学・生化学とその関連領域の資料を収集し、人文・社会科学を始め広く一般教養資料を収集する山の畑分館や、医学・看護学系の資料を収集する川澄分館など他分館も連携し、薬学部の学生・院生・教員を中心とした学内利用者へ各種サービスを提供する一方で、学外・地域の方々への専門資料の公開も進めています。

実習棟は、基礎薬学の実習室(化学系実習室と物理・生物系実習室)のほか、6年制薬学教育に対応した模擬病室、模擬薬局、OSCE室、CBT室からなります。各種実習のための最新機器に加え、効率的に実習をすすめるためのAV設備、各実習室を映像録画できるネットワークカメラシステムを完備しています。



講義室



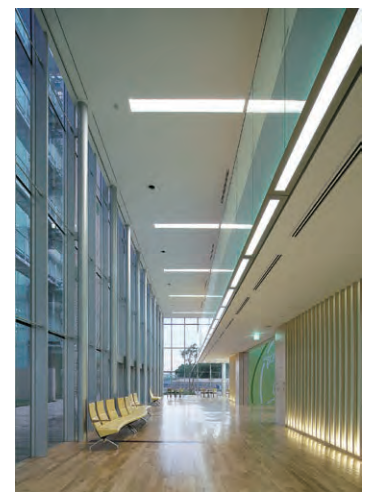
宮田専治記念ホール



図書館



模擬薬局



キャンパスモール



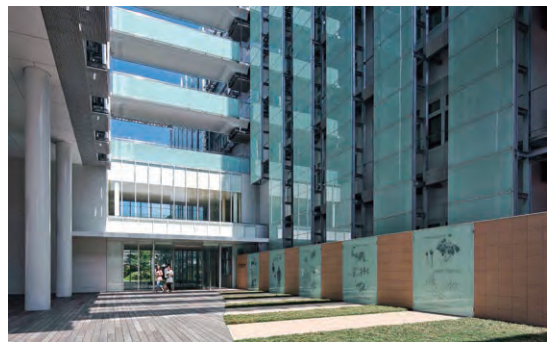
薬学部の正門を入ると左手にレンガ色の外壁と正面に大きなガラス窓を配した3階建の薬友会館があります。この建物は薬学部創立百周年を記念して薬友会が募金によって建設し、1984年7月に名古屋市に寄贈されたものです。1階には茶室「薬炉庵」、2階に懇親会にも使用できる研修室（和室30畳）、3階には水野メモリアルホールがあり、学生、教職員、卒業生の集会、憩いの場として利用されています。

正門から向かって奥の建物が研究棟です。研究棟には、薬学部の各研究室に加え、共用機器室、NMR室などの共同利用の研究施設もおかれ、充実した研究環境となっています。ピロティ、ロビー、中庭、各階に設けられたラウンジなど斬新なデザイン・設計が施されています。

先端薬学研究施設・共同利用研究施設・創薬基盤科学研究所・喜谷記念がん研究センターには実験動物飼育施設、放射線実験施設、遺伝子組換え実験施設などがあり、また、質量分析装置、共焦点レーザー顕微鏡、フローサイトメトリーなど様々な最新の高度研究機器がおかれています。平成28年には、創薬基盤科学研究所が文科省の「共同利用・共同研究拠点」として認定され、わが国の創薬研究の拠点として充実させていくことが決まりました。さらに、本学薬学部教授で優れた抗癌剤を開発された喜谷善徳先生のご業績を記念して、「喜谷記念がん研究センター」を設置し、喜谷財団のご支援で創薬のための最新鋭機器が新たに導入されます。科学技術の進展はめざましく、新しい研究機器も次々と開発されています。研究に携わる教員や学生の不断の努力はいうまでもありませんが、本施設の最先端の研究設備が薬学部における創薬科学や生命科学の研究と教育を強力にサポートしています。



薬友会館



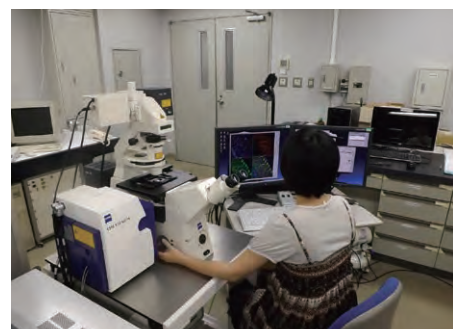
研究棟入口



先端薬学研究施設  
共同利用研究施設  
創薬基盤科学研究所  
喜谷記念がん研究センター



研究棟内のラウンジ



共焦点レーザー顕微鏡システム



薬用植物園での市民公開講座

薬用植物園では、学生に薬用植物や生薬についての生きた知識を学んでもらうことを目的として、日本薬局方に収載されている生薬や漢方薬の原料となる植物の他、西洋ハーブや香料、染料などの原料となる有用植物を中心に、約400種の植物の栽培と収集を行っています。また、遺伝子資源の保護という立場から貴重な薬用植物資源の収集、保存にも取り組んでいます。原則的に非公開ですが、年に4回、市民の方を対象に公開講座を開催しています。

カフェテリアには、名古屋市立大学生生活協同組合が運営する購買部と食堂があり、地元の方も利用されています。

野球場、馬場は、それぞれ名古屋市立大学硬式・準硬式野球部と馬術部が練習に使用しています。野球場は、各研究室対抗ソフトボール大会の試合にも利用される他、休日には地元のリトルリーグも利用しています。



カフェテリア



厩舎



## キャンパス周辺

名古屋市立大学薬学部キャンパスのある名古屋市瑞穂区は、名古屋市の中央やや南に位置し、薬学部キャンパスを始め教育施設や博物館などが集まる文教地区となっています。地下鉄名城線、桜通線、市バスなどの交通網が整備され、明るく住み良い文化的な生活ができる区として、進展が期待されます。

薬学部キャンパスのすぐ隣には桜の名所として名高い山崎川が流れ、川沿いと山崎川公園は区民の憩いの場となっています。

また、近くには、名古屋市総合運動公園があり、名古屋グランパスの本拠地でもある瑞穂陸上競技場をはじめ各種スポーツ施設が整備されています。

その他、周辺の桜山地区には名古屋市立大学医学部および附属病院が、八事(やごと)地区には名城大学や中京大学があり、学生向けの店舗や飲食店が多くあります。さらに少し足を延ばせば、熱田神宮、東山公園、名古屋城、ナゴヤドームといった名所を楽しむことができます。



名古屋市博物館



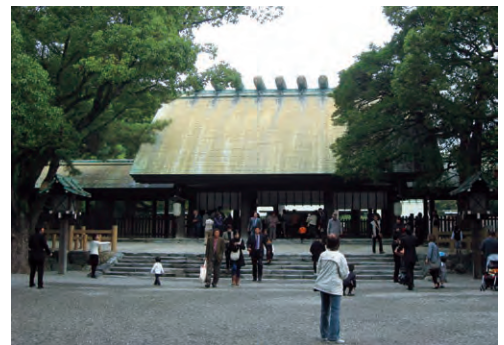
瑞穂陸上競技場



名古屋城



ナゴヤドーム



熱田神宮



山崎川

### 薬学部キャンパスとその周辺の環境



鯨井 千実さん

生命薬科学科  
東京・東京学芸大学附属高卒

みなさんは薬学部のキャンパスに来たことがありますか?薬学部の田辺通キャンパスは、桜の名所でもある山崎川沿いにあります。入学してこのキャンパスを訪れると、満開の桜がみなさんを歓迎してくれるでしょう。この田辺通キャンパスは、新しく建て替えられてまだ間もなく、とても綺麗で広々としています。ガラス張りのキャンパスは、とても明るく、気持ちよく過ごすことができます。薬学部ならではの設備も充実しており、薬学を学びやすい環境が整えられています。中でも、薬草園には、様々な薬用植物が植えられていて、生薬の原料について実際に自分の目で学ぶことができるのもこのキャンパスの魅力の1つです。また、周りは閑静な住宅街なので、下宿生も安心して住むことができます。電車やバスのアクセスもよく、すぐに名古屋の中心部に出られるので、買い物や遊びにも困ることなく学生生活を送っています。

みなさんも、自然豊かで綺麗なキャンパスで、私たちと一緒に学びませんか。



## 学生生活 Q & A

学生生活に関して、よくあるご質問と回答

### Q1 クラブやサークル活動はできますか？

**A1.** 薬学部は講義や実習が多く忙しいですが、その合間を縫って、クラブ・サークル活動も活発です。全学のクラブに加えて、薬学部生だけのための部活もあります。

### Q2 食堂などは充実していますか？

**A2.** 田辺通キャンパス、滝子キャンパスともに生協があり、食事に限らず、生活用品の購入ができます。食堂では、栄養バランスを考えたメニューが豊富に用意されており、毎日楽しく食事ができる環境です。

### Q3 入学後、勉強などの悩みについて相談できる機会はありますか？

**A3.** 薬学部では、学生約8人につき1人のチューター教員が付き、学業等の悩みなど、いつでも学生の相談を受け付けています。悩み事があれば遠慮なく、相談に来てください。また、滝子キャンパスでは、専門のカウンセラーを配置した保健管理センターを設けています。

### Q4 奨学金などの経済的な援助をうけることはできますか？

**A4.** 名古屋市立大学では、日本学生支援機構、民間、地方公共団体などの各種奨学金給付団体への推薦を行っております。現在、日本学生支援機構奨学金については、全学生のうち約4分の1が貸与を受けています。また、経済的理由により、授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められた場合には、選考のうえ、授業料を減免する制度を設けています。

### Q5 アルバイトはできますか？

**A5.** アルバイトをしている学生は少なくありませんが、講義、実習などで時間的余裕が少ないのが現状と思われます。アルバイトをする場合は、あくまでも学業優先を念頭において、しっかり両立することを心がけましょう。

### Q6 入学後に転学科はできますか？

**A6.** 薬学科ならびに生命薬科学科の定数は厳守しなければいけません。このため、入学後に転学科することは非常に困難です。ただし、一般選抜により入学した場合に限り、1年次および2年次の2月中に転学科許可申請書を提出し、様々な条件がすべて満たされれば可能です。



## 薬学祭

### 薬学生が企画、運営する一大イベント

薬学部の学生が企画から当日の運営まで行う薬学祭は、毎年大変な盛り上がりを見せます。

薬学祭では、「製薬体験」など市民の方にも薬学に触れていただくことができる企画が目白押しです。みなさんも薬学部に入学して、薬学祭で大いに活躍してみませんか？



キャンパス内の模擬店



盛り上がるステージ



子どもたちと触れ合う製薬体験

### 実行委員長（令和元年度）



#### 大崎 康太 さん

薬学科  
滋賀・石山高卒

薬学祭とは毎年10月に行われる薬学部の学生が主体となって運営する大学祭です。薬学祭では老若男女が楽しめるお化け屋敷、模擬店、カフェなどの他に、製薬体験や薬草園ツアーなどの薬学部の学生にしかできない企画も用意しています。この薬学祭には薬学部生だけでなく他学部、他大学の学生や地域の方々も多く来場され大変盛り上がる薬学部的一大イベントです。学生一人の力では薬学祭を運営することはできませんが、先輩や後輩、先生方、地域の皆さま等、多くの方々の協力によって毎年素晴らしい薬学祭を開催できています。また薬学祭を通じて先輩や先生方との繋がりも生まれます。この薬学祭では 学生個々の力を一つにすることで成功しています。名古屋市立大学薬学部の学生にしかできない薬学祭を私たちと一緒に成功させましょう！

皆さまのご入学を心よりお待ちしております。





# Faculty of Pharmaceutical Sciences



# 生命薬科学科

豊富な研究機会。

科学的思考(サイエンティフィック・マインド)の訓練と実践。

薬の科学のスペシャリストに!



## 生命薬科学科の概要

薬学は医療に不可欠な学問分野の一つです。薬学を学んだ人は、薬を通じて人類の福祉と発展に貢献することができ、様々な場面で活躍できる薬のスペシャリストになることが期待されています。

生命薬科学科では、生命・薬などに関わる「モノ」の本質を科学的な目で捉える力と国際社会に目を向けた幅広い視野を養います。これにより、医薬品開発や生命科学の探求等を通じて医療へ貢献する、薬の科学のスペシャリストを目指します。

また、大学院に進学し、最先端の生命科学・創薬科学の研究に積極的に関わることが強く期待されています。

## 生命薬科学科の特徴

### 1. 研究経験重視の教育カリキュラム

2年生前期に研究室体験ができる。

3年生後期から研究室での本格的な卒業研究に取り組む。

薬の科学の専門家として必要な研究発表能力・説明能力を伸ばす。

### 2. 薬に関わる様々な科学に興味に応じて学習できるカリキュラム

3年生後期では多数の薬学系専門科目から興味に応じて学習科目を選択できる。

### 3. 併設の薬学科と同じクラスで基礎薬学科目を学習するカリキュラム

薬の臨床面を学ぶ仲間を持つことで、医療現場を理解しつつ研究開発・行政を担う薬学専門家に。



入学

## 入学から卒業まで

1年生

滝子キャンパス

大学生としての教養を学びます。  
また、薬学の専門科目も一部始まります。

### ●教養教育科目の履修

生命薬科学研究入門(薬学キャンパス)

理系の基礎科目、外国語・英会話、  
体育、特色科目

### ●専門教育科目の履修

薬学概論、薬品分析化学、薬学有機化学、  
機能形態学、薬学物理化学、基礎生物化学

2年生(前期)

田辺通キャンパス

薬学関連の専門的な勉強が本格的に始まります。

### ●専門教育科目の履修

薬学概論、薬学物理化学、有機反応化学、  
薬学無機化学、生物薬品化学、  
薬剤学、生薬学、製剤学、機能形態学、  
薬学英語、機器分析化学、薬理・毒性学

研究室での  
研究体験が  
できます!  
(希望者)

## 生命薬科学研究入門

「『抗がん剤はなぜがんに効くの?』高校生の妹に聞かれて、薬学部に入學したばかりの雅治は答えに窮した・・・」と与えられたシナリオに基づいて徹底的に討論しながら科学的な考えを深めていく、普通の講義とは違うユニークな授業。1年生の前期科目では唯一、薬学キャンパスで開講。



能瀬 逸紀さん

京都・京都教育大学附属高卒

生命薬科学研究入門では、PBL (Problem-based Learning, 問題解決型授業) と研究室入門の二つの授業が受けられます。PBLでは、少人数のグループで、与えられたシナリオについて考えたことや疑問に

思ったことを話し合います。授業中は調べることができないので、自分たちだけで考え、意見を出し合います。そうすることで、いろんな切り口から物事を考えたり、思いもつかなかった考えに触れたりでき、刺激を受けました。また、シナリオには例えば健康食品のような身近な話題が出てきますが、知っているようでうまく説明できないことに気づかされ、理解を深められました。最後には自分たちのテーマについて発表を行うので、プレゼン能力や質問に対応する力も磨かれます。

研究室訪問では、実際に研究室を訪ねて、研究室の様子や雰囲気を見学することができます。また、先生方から詳しい研究内容や研究室での日常について聞いたり、先輩たちと交流したりするなど、貴重な体験をすることもできました。研究室によっては、簡単な実験もさせてもらえます。最後には、訪問した研究室について発表し合い、様々な研究室の興味深い研究室生活を覗くことができ、行きたい研究室を考えるのに役立ちました。

## 化学系実習



鈴木 浩太さん

静岡・浜松北高卒

化学系実習では、自分で作った物質を原料として次の反応を仕掛ける多段階反応を行ったり、茶葉からカフェインを抽出する操作を行ったり

します。少し聞いただけでは難しく感じると思います。しかし、I~IVまである化学系実習の中で、高校の教科書に載っているような実験—例えば金属イオンの分離や有機化合物の混合溶液から物質を単離するような操作など—から段階を踏んで発展的な内容へと進んでいくので、高校の授業であまり実験をしてこなかった人でも、化学実験を行う能力を身に着けることが出来ます。

また、実際に手を動かして実験することで、教科書では一行で書いてあるような操作が実際にはどのように行われているかを知ることができ、高校や大学で学んできたことに対する理解を深めることが出来ます。

連日実験があって少し大変ですが、それを上回るだけの得るものがある、充実した実習です。

2年生(後期)

薬学の研究に必要な専門知識がどんどん増えてきます。

### ●専門教育科目の履修

薬学物理化学、有機反応化学、  
生物薬品化学、微生物薬品学、生薬学、  
薬剤学、製剤学、薬理・毒性学、  
化学系実習、物理系実習



生命薬科学研究入門の様子



## 生命薬科学科目

生命薬科学科の履修科目。専門的な最先端科学に関する科目を自由に選択して履修する。研究室の先生から先端研究に関する講義を受けられる。



平井 綾音 さん

京都・西京高卒

生命薬科学科では3年生の後期に生命薬科学科目を履修します。この科目では、さまざまな分野の中から自分が興味をもった科目を選択できます。今までに学習してきたことよりさらに専門的な内容を、各分野の専門の先生から最先端の知識を含めてわかりやすく教えていただけるため、より深い知識が身につきます。生命薬科学科の学生は3年生の後期から研究室に配属され、卒業研究を始めます。配属されてすぐは、研究室で学ぶ内容についていくのが難しいこともありますが、生命薬科学科目の講義では研究に必要な知識を得ることができるため、理解を深めることができます。また、レポート課題などで自分が興味をもった内容について調べ、自分の研究につなげることができます。この科目で幅広い知識を身につけることで、自分自身の研究が充実したものになります。

## 3年生(後期)

研究室に所属して、卒業研究を開始します。学位の取得を目指してそれぞれの学生が研究テーマに取り組みます。教科書で学ぶのとは違い、予め正解がある訳ではありません。自分自身で答えを探っていく研究の面白さを味わいます。また、講義や演習でより高度な専門知識や最先端の知識を学びます。

### ●卒業研究実習の履修

### ●生命薬科学科目\*の履修

### ●演習科目の履修

薬学情報処理演習、プレゼンテーション演習

### \*次の科目から自由に選択

創薬科学・知的財産活用論、コロイド・高分子科学、バイオインフォマティクス、生物有機化学、ケミカルバイオロジー、有機合成化学、分子神経科学、ドラッグデリバリー論、分子病態学、分子感染症学、医薬品化学、有機金属化学、環境衛生学、免疫学

卒業研究  
スタート

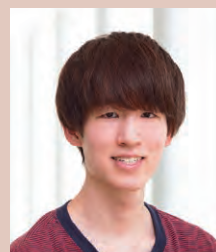
## 3年生(前期)

薬学の研究に必要な専門知識をさらに学びます。ここまでで、研究に必要な薬学の専門知識の学習がひととおり終わります。

### ●専門教育科目の履修

構造生物学、有機反応化学、微生物薬品学、医薬品代謝学、衛生化学、薬理・毒性学、病態生化学、医薬品情報学、薬学英語、有機化学演習、生物系実習、医療機能系実習

## 医療機能系実習



難波 知堯 さん

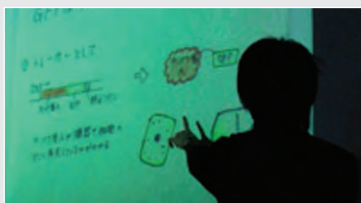
福井・藤島高卒

3年次前期には最後の実習である医療機能系実習があります。この実習では他の実習と違い、マウスやラットを使用して臓器を確認したり、薬物の作用を目で見て評価したりします。講義で習ったことを実際に自分の目で確かめることができます。マウスやラットを使用するにあたって、実験動物に対する倫理を学んでから使用します。薬学部とはいえ、マウスやラットが苦手な人は結構多かった印象がありますが、もちろんそういった人たちは考慮されるので安心してください。実習ということで堅苦しい雰囲気イメージされる方がいると思いますが、そんなことは一切なく、先生や研究室の先輩たちが優しく教えてくださるので楽しく実験することができます。医療系実習は他の実習と違って薬の作用を評価する実験なので、薬学部らしさが強く楽しめるといいますし、必ず3年後期以降の研究室生活や将来に役立つと思います。



## プレゼンテーション演習

生命薬科学科の必修科目。研究者に必要な「成果を発表する能力」「一般の人たちに説明する能力」を養う演習。これからの時代を担う研究者は、社会への説明責任や、科学の普及も大切な役目となる。この時に役立つ“プレゼンテーション能力”を身につける。



### 4年生

それぞれの研究室で、1年間じっくり卒業研究に打ち込みます。大学院生の先輩の姿を見ながら、本格的な研究について学びます。自分自身で研究し、見いだした成果を卒業論文にまとめます。

- 生命薬科学演習の履修
- 卒業研究実習の履修

大学院入試  
があります

## 生命薬科学演習



高柳 優太さん  
北海道・札幌南高卒

この科目は内容が3つに分かれているうちの2つを選択するという形式になっています。1つ目は1年生の生命薬科学研究入門で行われるPBLのチューター、2つ目は日帰りでの名古屋市近郊の研究所の見学、3つ目は1泊2日での製薬会社2社の研究所を見学するというものです。僕は研究に興味があったので、このうちの2つ目と3つ目を選択しました。日帰りでの研究所の見学では三和化学を、1泊2日での研究所の見学では日本新薬と塩野義を見学させていただきました。実際に企業の方からのお話を聞き、質問することができるとは減多にないのでとても参考になりました。また、自分が製薬会社の研究職につけるようになるためには何が必要なのかを考えるようになり、日々の研究室での実験の意識が大きく変わりました。このように製薬研究とはどういうものなのかを自分の目で見ることで得られることは大きかったと思っています。

学士を取得

卒業

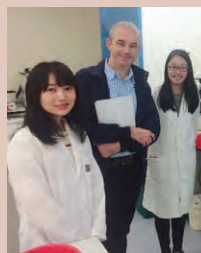
## 卒業研究実習



黒瀬 梨沙さん  
山梨・駿台甲府高卒

生命薬科学科の学生は3年次後期から研究室に配属されます。研究室は化学系・物理系・生物系・医療系に大きく分けられ、各研究室により研究内容は大きく異なります。そのため、事前に研究室を訪問したり、先輩に話を聞いたりして慎重に研究室を選ぶことが大事です。研究テーマについては、指導教員から与えられることが多いです。まず、研究テーマについて既に明らかになっている点と、これから解明すべき点を明確にするため、参考となる文献をたくさん読み込み、基礎的な知識を習得します。そして、教員や先輩の指導の下で実験計画を立て、様々な実験手技を身につけて研究を進めていきます。得られた実験結果を基に、定期的に教員とディスカッションを行うことで方向性や目標を定め、より研究を深めていきます。また、研究が進むと学会発表をする機会があり、プレゼンテーション能力の向上にも役立ちます。研究には失敗がつきものですが、失敗を基に試行錯誤するプロセスが非常に重要です。卒業研究を通して、実験手技だけでなく、論理的思考力や課題解決能力も身につけることができ、これらは将来のキャリア形成にも活かせると考えています。

## 香港大学での交換留学プログラム体験談



神谷 悠乃さん（写真左）  
愛知・岡崎高卒

私は、香港大学医学部薬学科でAlan先生、Winston先生の下で研究を6週間行いました。研究内容は、タンパク分解酵素に対する植物由来成分の作用についてです。酵素は、食物の消化を助けるなど、体内でとても大切な働きを担います。私は、牛肉のたんぱく質を分解し柔らかくて美味しい食感を作り出したり、美白効果を謳っている石鹸に使われている酵素を阻害する成分を探索しました。その結果、4種類の植物由来成分が阻害活性をもつことを確認しました。

また、香港大学では英語で行われる講義や実験プログラムが数多く用意されています。研究室のメンバーに相談して、研究の合間にはそれらに参加してもらいました。日本では身近に学ぶことのできない中医学に触れることができましたし、とても充実した香港大学の留学プログラムに、一部ですが参加できたことは、とても貴重な経験となりました。





●研究風景

**修了**

修士・博士の学位を取得し  
薬の科学の専門家として、  
社会の様々な場面で活躍します。

**博士課程**

**大学院**

**修士課程**

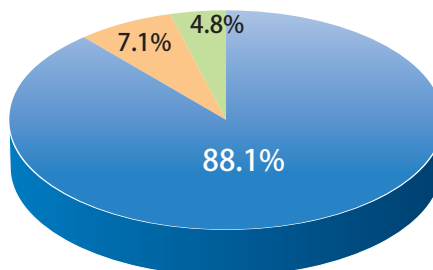
さらに  
本格的な研究を  
続けます

社会へ

大学院では研究室に所属し、研究活動を行います。研究内容は、有機化学、物理化学、生化学、薬理学、など多岐にわたりますが、いわゆる学生実習とは全く異なり、世界中の誰も知らない未知な事象が対象です。皆さんが得る実験結果は、研究に従事した皆さんが世界ではじめて手にする内容なのです。研究内容は国内外の学会で発表され、著名な学術雑誌に報告されます。

**大学院進学について**

生命薬科学科では、3年後期から約1年半の期間、卒業研究を行います。研究者として自立した力を身につけるためには十分とは言えません。そのため生命薬科学科は大学院博士課程と連携しており、大学院への進学が強く望まれています。平成29年度から令和元年度の卒業生は、約95%が本学または他大学の大学院に進学しています。名古屋市立大学には、博士前期課程(2年間)と博士後期課程(3年間)からなる大学院が設置されています。



■ 名市大院進学  
■ 他大学院進学  
■ 就職・その他

※令和2年4月現在  
(留学生を除く)

**生命薬科学科は大学院博士課程と連携**

研究者・技術者としての基礎を身につける

薬学部・生命薬科学科

4年間

学士(薬科学)取得

問題解決能力を身につける

薬学研究科  
大学院博士前期課程

2年間

修士(薬科学)取得

自立した研究者となるには  
最低限必要

課題設定能力を身につける

薬学研究科  
大学院博士後期課程

3年間

博士(薬科学)取得



# 生命薬科学科

## 国際学会発表支援制度(大学院生)

本学では、大学院生を対象に「国際学会発表支援制度」を充実させています。海外の国際学会で自ら発表する学生には、旅費及び滞在費が支援されます。世界の研究者の前で、皆さんの研究成果を発表してみませんか？

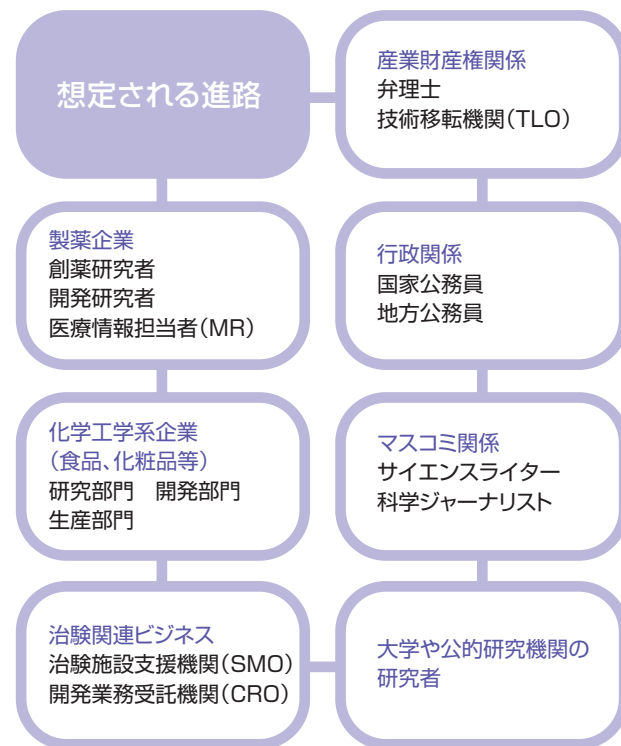


## 大学院博士後期課程について

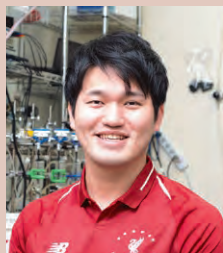
2年間の博士前期課程を修了後、さらに研究能力を高め、世界で活躍できる自立した研究者を目指す人は、3年間の博士後期課程に進学することができます。博士後期課程では、本学の創薬生命科学専攻に所属する教員の指導を受け、最先端の研究を行い、研究者としての専門的な能力を身につけます。また、本学は名古屋工業大学との共同大学院として共同ナノメディシン科学専攻を設置しています。この専攻では、薬学の強みである薬に関する先進的な科学と、工学の強みである最先端のテクノロジーの両方を学ぶことができます。博士後期課程修了後には、創薬科学、生命科学の研究者あるいは薬工融合型の人材として幅広く活躍することが期待されています。

## 大学院進学後の進路について

平成18年度から全国の薬学部ほとんどが6年制となり、大学院と連携して教育・研究を行う4年制学科は貴重な存在となりました。そのため高い研究能力をもち、薬学の知識・技能を学んだ研究者は、多様な業種からの需要が期待されます。大学院修了後は、以下のような進路が考えられます。



## 在学生からのメッセージ



西川 敦士 さん  
奈良・東大寺学園高卒

博士前期課程では、学部生(3年生後期～4年生)までに自分が携わってきた研究についてより深く追究し、発展させることができます。

私達の大学には20を超える研究室があり、各研究室で様々な観点から疾患や薬物などに関する研究を行なっています。研究室では、充実した設備があり、先生方や研究室の先輩方の手厚いご指導のもと、学生1人1人が自身の研究テーマに没頭できる環境が整っています。私自身、新規治療薬の開発を目標に新しい研究を立ち上げ、日々楽しみながら実験を行っています。研究室での生活では、同じ研究室のメンバーと長い時間を過ごすことになり、知らず知らずの間に家族のように深い絆で結ばれた友人を得ることができます。カリキュラムも研究に関する講義だけでなく、薬学という大きな軸を中心に、最先端の創薬研究や製薬業界を取り巻く現状などに関する講義もあり、幅広い知識を学ぶことができます。

このように、博士前期課程では4年間で学んだ基礎知識を応用し、さらに成長していくカリキュラムが組み立てられており、創薬の最前線を自身で体験することができる2年間になっています。

## 在学生からのメッセージ



青山 柚里奈 さん  
愛知・刈谷高卒

「薬学」は、薬品合成や製剤、疾患や薬効など様々な分野を包含しています。そのため、薬学部では、物理、化学、生物といった基礎科目から薬理

学、薬剤学などの医療薬学科目まで幅広い分野を学びます。生命薬科学科は、3年生後期から研究室に配属され卒業研究に取り組みます。大半が博士前期課程に進むため、約3年半を過ごす研究室の選択は重要です。

大学の研究は、世界で未発見の事象に取り組むことが多いのが特徴です。私は、コロイド科学を専攻し、医療材料応用に向けた基礎研究を行っています。日々論文や書籍から既存の研究を勉強し、先生の指導を受けながら実験を進めています。答えがわからない研究は、困難もありますが面白いところでもあります。また、国内外の学会発表、企業との共同研究の機会を活用して知見を広げ、研究のモチベーションとしています。学部生時代はがむしゃらに実験していましたが、院生からは自分のペースで好きなことを学び、実験するといった充実した研究生生活を送っています。

薬学で「これがやりたい」を見つけるのは、入学後でも遅くないと思っています。自身の生活に関わる「薬」について学びたいのなら、ぜひ薬学部へ。頑張ってください。



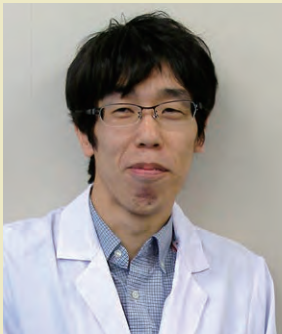
## 卒業生からのメッセージ



**細馬 あかね**さん ノバルティスファーマ株式会社  
H29年博士前期課程修了 茨城・常総学院高卒

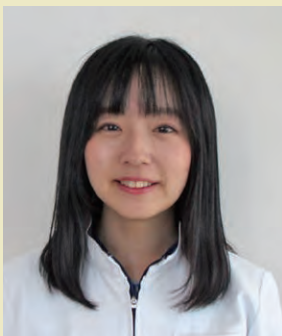
私には、「画期的な新薬を創りたい。」という夢がありました。そしてその夢を達成するために病気はどのように発生するのか、薬はどのように作られているのかを知りたいと考え、生命薬科学科へ入学しました。生命薬科学科では、早期に研究室に配属されるため、薬学の知識に加え、実験手法や論理的思考も存分に学ぶことが出来たと感じています。また、私はこの大学でもう一つ大きなものを得ることが出来ました。それは、人との「繋がり」です。名古屋市立大学薬学部には繋がりを築く場が沢山あります。辛い時も楽しい時も、みんなで一丸となって切磋琢磨し合える環境がここにはあります。

今私は、製薬会社で目標であった新薬開発を行っています。今まで治療法のなかった患者さんが、新薬により元気になっていく喜びは何とも言えません。そして難題にぶつかった時には大学の友人の意見を聞き、今でも刺激をもらいながら業務に励んでいます。この大学で得た沢山の経験が今の自分にとってかけがえのないものになっていると日々実感しています。ぜひこの大学で沢山の事を吸収し、夢の実現のために頑張ってください。



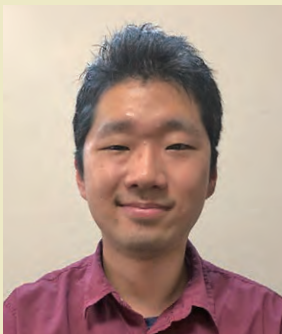
**川島 生**さん 塩野義製薬株式会社  
H29年博士前期課程修了 岐阜・岐山高卒

「世界中の人々を感染症から守りたい!!!」私はこんな夢を見て研究者養成コースである生命薬科学科を志望しました。本学の生命薬科学科は研究者になることを前提としたカリキュラムで、論理的なディスカッションを行う講義や、様々な分野の第一人者の講義があります。また、正式な研究室配属は3年次後期からですが、希望者には2年次からでも研究室仮配属をする制度があり、研究者としての基礎を早くから学ぶことができます。私はこのような最高の環境と同じ目標を持つ仲間を支えられ、研究者としての礎を築くことができました。私は現在、製薬会社研究員として抗ウイルス薬の研究に携わっています。創薬研究は論理的な研究展開、薬を待つ患者さんのためにスピード感が求められます。求められるハードルは高いですが、いつか自分の夢を叶えるために日々邁進しています。皆さんもぜひ本学で夢に向かって羽ばたく準備をしませんか？



**鈴木 千晶**さん 株式会社ヤクルト本社  
H30年博士前期課程修了 愛知・明和高卒

「人の健康に役立つ研究をしたい。」というのが、高校生の私の夢でした。その夢を叶えるため、研究者としての基礎を学ぶことができる本学の生命薬科学科を志望しました。生命薬科学科では、3年次後期に研究室に配属されます。配属されてからは、実験手技を習得するだけでなく、論文等から得られる最新の知見や論理的思考力なども身につけます。私は研究室での日々を通して、研究者としての基礎を築くことができました。私は現在、人の健康の維持増進に役立つ食品開発の研究に携わっています。研究生活は、最新の知見をどのように自分の研究に活かしていくかが重要です。日々様々な情報を収集し、学生時代に培った経験や能力を活かして業務に励んでいます。研究対象は薬から食品に変わりましたが、人の健康に役立つ研究をするという夢を仕事にできたことに喜びを感じています。本学で研究者としての基礎を築いたからこそ、夢が現実になったものと思います。皆さんも本学で学び、夢の実現への一歩を踏み出してみてください。




**加藤 路尚**さん 株式会社メディサイエンスプランニング  
H30年博士前期課程修了 愛知・旭丘高卒

私は高校の時に「人に役に立つことがしたい」と漠然と考えていました。生命薬科学科では研究者や医療関係者と幅広い進路を選択でき、私のやりたいことが見つかるかもしれないと考え入学しました。

生命薬科学科の大きな特徴は、学部3年次～卒業までの長い期間研究室に所属することです。配属までに学んだ薬学の基礎や論理的思考、実験手技を活かすと同時に、研究室の一員としてのチームワークや社交性を養うことができます。また、学会や研究室ミーティングに参加する機会も多く、研究を通じて様々な人と意見を交わしました。これらの経験を通じ、私は人と関わることを楽しむ自分を新たに発見することができました。

私は大学院修了後、新薬の臨床治験を専門に行う企業に就職しました。臨床治験とは、研究から出てきた「化合物」を患者さんに使ってもらい、有効性・安全性を検証して「医薬品」にすることです。臨床治験は製薬企業と病院が協力して進めるため、専門知識も活かせ、また様々な人と関わる毎日を過ごすことができます。名市大薬学部は学生の意欲が高く、先生や卒業生の方から様々なお話を聞く機会も多いため、日々大きな刺激を受けることができます。高校生の皆さんも将来の夢・生き方を見つけてみませんか？本学はその実現にきつと力になるはずですよ。



# Faculty of Pharmaceutical Sciences



# 薬学科

患者さんから信頼される医療チームの一員となって  
最先端の医療に参加しませんか？

広い視野を持って未来の医療を担う人間性豊かな薬のスペシャリストに！



## 薬学科の概要

これからの医療では異なる医療専門家がチームとなって治療を行うことが求められています。薬剤師は、薬の専門家として患者さんに対して、また、医療チームの中でも重要な役割を担っています。薬学科では、広い視野、コミュニケーション能力と豊かな人間性を持った、医療、行政、教育、研究及び産業分野で活躍する薬剤師の育成を目指します。

## 薬学科の特徴

### 1. 医学部、看護学部と一緒に医療について学べるカリキュラム

臨床体験、BLS (Basic Life Support) 講習や医療系学部連携チームによる地域参加型学習などを学べる早期体験学習があります。

### 2. 創薬から臨床、そして最先端の研究にわたって学べるカリキュラム

薬学科では以下のような目的意識をもって学べる講義を開講しています。

- ・ 薬を作る最先端の研究を学ぶ。
- ・ 診断、治療についての考え方を学ぶ。
- ・ 高度な医療や創薬について学ぶ。

### 3. 広い視野をもった医療人としての自覚と、薬剤師としての知識、技量を学ぶカリキュラム

病院、薬局で医療に携わっている薬剤師や医師から臨床について学ぶ講義を開講しています。

### 4. 医療や創薬についての研究ができるカリキュラム

4年次より各研究室へ配属され、医療や創薬に関する研究を行います。

### 5. 臨床薬学の進歩に貢献する人材の育成

臨床薬学の進歩に貢献する、指導的な人材、研究者及び教育者を養成するため、大学院を設置しています。

### 6. 卒業後も教育研修の機会がある大学

薬剤師学び直しやリカレント(生涯学習)教育に実績があり、卒業後も最新・最先端の医療について学べる講座を開講しています。



入学

## 入学から卒業まで

1年生

大学生としての教養を学びます。  
また、薬学専門科目も一部始まります。

### ●教養教育科目の履修

医薬看連携地域参加型学習

理系の基礎科目、外国語・英会話、  
体育、特色科目

### ●専門教育科目の履修

薬学概論、薬品分析化学、薬学有機化学、  
基礎生物化学、機能形態学、薬学物理化学

滝子キャンパス

## 医薬看連携地域参加型学習



中吉 悠翔 さん

鹿児島・甲南高卒

1年生で履修する、医薬看連携地域参加型学習は、「チーム医療」の概念に基づいた通年科目です。医・薬・看の3学部混合の9人前後のグループをベースに活動し、3学部が連携しあう「チーム医療」に触れ、実践的な活動を行います。前期では、医療に関する最新の講義を通して様々な話題に触れます。また、病院内で白衣を着て、看護体験や高齢者体験、応急処置の学習などをします。後期では、それぞれの地域や病院が抱える問題点と、その有効な解決策を議論し、実際に医療現場を訪れ問題の解決を行います。教授の助言や前年度の活動をふまえ、学生が主体となって問題の解決を目指します。医学部や看護学部とのつながりができ、良い経験となりました。長期休暇を利用して遠方の施設訪問するグループもあります。

医療現場ではグループ内でどう動くかは自分次第です。理にかなった意見や言動でリーダーにもなれます。どんな時間を過ごしたかで、かなりの個人差が出る活動です。

2年生(前期)

薬学関連の専門的な勉強が本格的に始まります。

### ●専門教育科目の履修

薬学概論、薬学物理化学、機器分析化学、  
薬理・毒性学、有機反応化学、薬学無機化学、  
生薬学、生物薬品化学、薬剤学、製剤学、  
機能形態学、薬学英語

田辺通キャンパス



早期体験学習(看護体験)



早期体験学習(BLS)

2年生(後期)

薬学に必要な専門知識がどんどん増えてきます。

### ●専門教育科目の履修

薬学物理化学、有機反応化学、生物薬品化学、  
微生物薬品学、薬理・毒性学、生薬学、薬剤学、  
製剤学、薬理・毒性学、物理系実習、  
化学系実習



## 薬学科講義科目



生田 現さん  
鳥取・米子東高卒

4年生になると病院実習や薬局実習  
さらに卒業後を見据え1～3年生の間に

身に付けた知識を応用した、様々な薬物治療について学びます。

臨床薬学では、様々な疾病の病態やそれに対する個々の薬物の  
詳しい作用などについて学びます。さらに薬物間の相互作用や体  
内動態についても学びます。いずれもただ丸暗記するのではなく、  
今までに学んだ内容を応用しながら理解していくことが必要になり  
ます。

公衆衛生学では健康増進や感染症の予防に必要な対策などに  
ついて学び、薬局管理学では薬局で働く薬剤師として必要な知識や  
技能、またこれからの薬局に求められる役割についても学びます。

講義で学ぶ内容は幅広く、難しいことも少なくありません。し  
かし今までに学んだ内容がどのように役立つか、実際の医療現場  
でどのように用いられているか理解することができ、自分の卒業  
後の進路も意識して大きく成長することができると思います。



### 4年生(前期)

臨床に関する講義が始まります。前期から研究室  
に配属になり卒業研究が始まります。

#### ●専門教育科目の履修

臨床薬学、公衆衛生学、薬局管理学、  
卒業研究実習

卒業研究  
スタート

### 3年生(後期)

さらに専門的な薬学の知識を学びます。

#### ●専門教育科目の履修

免疫学、薬理・毒性学、放射薬品学、薬事関連法・制度、  
環境衛生学、医療経済学、生物統計学、薬学英语、  
基礎薬学演習(PBL)、臨床薬学、医薬品化学、  
生物有機化学

### 3年生(前期)

薬学に必要な知識をさらに学びます。

#### ●専門教育科目の履修

構造生物学、有機反応化学、微生物薬品学、  
医薬品代謝学、衛生化学、薬理・毒性学、病態生化学、  
医薬品情報学、薬学英语、生物系実習、  
医療機能系実習



## 薬学科講義科目



益川 成美さん  
大阪・清風南海高卒

3年生前期は、午前中に授業、午後  
に実習が行われます。

授業では、1～2年生で学んだ知識を  
必要とする発展的な内容を学習します。

具体的には、有機反応化学では化合物  
の構造・性質・合成法について、薬理・毒性学では麻酔薬や循環器系  
の薬について、微生物薬品学では抗生物質について、医薬品代謝学  
では薬物の代謝反応や薬物間の相互作用について学びます。どの授  
業も最新の研究内容を聞くことができ大変興味深いです。

実習では、生物系・医療機能系実習があります。例えば、大腸菌を  
用いて抗生物質の感受性や耐性の獲得をみる実験や、自身が被験者  
となりカフェイン摂取後の作業効率の変化や局所麻酔薬による味覚  
の変化をみる実験があります。実際に目で見えるあるいは体感すること  
で、薬理作用や薬物動態をより具体的にイメージしやすくなります。ま  
た、レポートを書く上で「なぜこのような結果になったか」を研究室の  
先生や先輩方のご指導や学生同士での議論、文献を通して考察してい  
くことで、授業で学んだときよりさらに深く理解することができます。

授業と実習を繰り返す日々で忙しいですが、非常に得られるものが  
多く充実しています。



## 4年生(後期)

後期には実務実習事前学習と共用試験があります。

### ●専門教育科目の履修

臨床薬学実務実習事前学習、卒業研究実習

## 実務実習事前学習

4年次に実務実習(薬局実習・病院実習)に必要な知識と技能と態度を身につけるために行われます。処方せんや医薬品に関する講義、調剤や服薬指導など薬剤師業務に直結した実習を行います。



人体シミュレーターによる聴診器使用法の習得



模擬病室

## 共用試験 (OSCE・CBT)

4年次に実務実習を行うための知識や技能が備わっているかを問う試験です。

OSCE (objective structured clinical examination) では、調剤の技術や、患者さんへの服薬指導などが適切に行えるかどうか問われます。CBT (computer based testing) では、薬物治療のみならず、生化学・有機化学・物理化学の基礎的な知識も問われます。

これらの試験は、4年次の12月から1月にかけて行われます。この両方に合格しないと、実務実習を行うことはできません。



OSCE 無菌操作の実技試験

### CBT例題

1. 日本人の死亡原因の第1位はどれか
  - a. 心疾患
  - b. 肺炎
  - c. 悪性新生物
  - d. 自殺
  - e. 脳血管障害
2. 麻薬に分類される薬剤はどれか
  - a. バルビタール
  - b. エフェドリン
  - c. モルヒネ
  - d. アンフェタミン
  - e. ペンタゾシン

## 共用試験

OSCE: Objective Structured Clinical Examination  
(客観的臨床能力試験)、  
CBT: Computer Based Testing (知識試験)

## 臨床薬学実務実習事前学習体験談



### 平丸 航太郎さん

長野・伊那北高卒

4年次の実務実習事前学習では、5年次の実務実習に向けて薬剤師として働くために必要な知識・技能・態度を学びます。4年前期までの座学が中心の授業よりも、調剤業務や患者さん

への服薬指導の練習といった臨床現場を意識した学習をします。

調剤の練習は調剤室を模した場所で実際の医薬品を使って行うので、薬剤師として働くイメージをよりはっきりともてるようになりました。

服薬指導の練習では模擬患者とよばれる一般の方に協力して頂きます。実際の患者さんではありませんが、学生どうしでは得られない緊張感をもって練習することができます。学生間でお互いの服薬指導について改善点や感想をフィードバックしあうことで、患者さんに薬について正しく理解し、使ってもらうにはどのようにすれば良いのか考えて練習することができました。

さらに事前実習では外部講師として、病院、薬局、ドラッグストアで働かれている薬剤師の方からお話を聞く機会が多く設けられています。第一線で働かれている方からお話を伺ったことで学生のうちに学んでおくべきことがより明確になり、実務実習に向けて勉強にいつそう励む良いきっかけを頂きました。

## 共用試験体験談



### 安田 彩乃さん

岐阜・岐阜高卒

薬学科では5年次に薬局や病院で実務実習を行います。そこで学生の知識や技能が一定のレベルに達していることを保証するための試験が共

用試験で、4年次の後期に行われます。OSCEとCBTの2種類があります。

OSCEは水剤や軟膏剤などの調剤、注射剤の混合、模擬患者さんへの服薬指導などを行う実技試験です。初めて行うものばかりで、最初は全然うまく出来ませんでした。しかし模擬患者さんや先生方にアドバイスを頂いたり、学生同士で評価し合いながら何度も練習したりすることで、試験当日は緊張しながらも自信を持って臨むことが出来ました。

CBTは4年次までに学んできた知識を問われます。薬理・薬物治療だけでなく、物理、生物、化学など幅広く出題されます。問題集を解きながら、授業のノートやプリントを見返し、今まで学んできたことの復習をして試験に臨みました。

試験に臨むにあたって多くのことを勉強しなければならず大変でした。しかしその分、薬剤師は患者さんの命を預かる責任があるということを改めて自覚することが出来ました。



## 5年生

病院や保険薬局での実務実習が始まります。

### ● 専門教育科目の履修

臨床薬学実務実習（病院実習）  
臨床薬学実務実習（保険薬局実習）  
卒業研究実習

### 実務実習（病院実習、薬局実習）

病院及び調剤薬局においてそれぞれ11週間の実務実習を行います。実際の業務を体験し、薬剤師としての知識、技能、態度を習得します。

病院実習は名古屋市立大学病院はじめ東海地区の病院で行われ、病棟での服薬指導や医師、看護師、他の医療従事者とチームで医療に携わることなどを学びます。

薬局実習は主に愛知県内の調剤薬局で行います。それぞれの薬局に1～2名の実習生が配属され、調剤や服薬指導を学びます。



病院薬剤部での調剤



### 薬局実習体験談



田中 日向子 さん

愛知・旭丘高卒

私が実習させていただいた薬局には、小さなお子様や妊娠中の方、ご高齢の方までさまざまな患者さんが来局されていました。このため、処方内容の理解と確認や正確な調剤はもちろんですが、患者さんひとりひとりに合わせた服薬指導が特に重視されていました。薬剤師の先生は服薬指導について毎日熱心に指導してくださりました。

また、在宅医療に力を入れている他の薬局を見学できる機会がありました。特に印象に残ったのは、医師・薬剤師・看護師による高齢者向けの施設への往診です。往診先では、施設のスタッフからの薬の質問に答えたり、医師から処方相の相談を直接受けたりといった、薬局内とは一味違った薬局薬剤師の仕事を知りました。病院薬剤師だけでなく、薬局薬剤師も積極的にチーム医療に関わることで、医療の質を高めることができるといふ例を間近で見ることができ、大変勉強になりました。

近年の薬剤師に求められるものはどんどんレベルが高くなっていくように思います。そんな中で、薬局実習では時代に即した薬局や薬局薬剤師の在り方について理解を深めることができ、充実した日々だったと感じています。

### 病院実習体験談



渡邊 東紀男 さん

石川・金沢泉丘高卒

病院実習では非常に多くのことを学ばせて頂きました。自らの無知を痛感させられる日々は非常に充実しており、この上ない実習環境に恵まれた僥倖を折に触れて感じました。

病棟業務では自分に患者の人生に関わるだけの覚悟が不足していることに気付かされました。血の通った人間が実際にそこにいるというだけでこんなにもプレッシャーが違うのだと、これまでの大学生活での意識の低さを痛感しました。病院実習を経て初めて、意識の上で医療を目指す者のスタートラインに立った気がします。

また、6年制の薬学教育が導入されて以来病棟業務の重要性が強調されてきましたが、医薬品の管理は依然として薬剤師の主要な業務の一つです。病院というあの巨大な施設の心臓部を如何に設計し運用するかも薬剤師にかかっているのだと、病院薬剤師の果たす役割の大きさに驚かされました。

薬剤師の活躍するフィールドはどんどん拡大しています。しかし将来どのようなキャリアを積むことになってもその成果が行き着くところは病院のような医療の現場になります。自分がどのようなフィールドで戦う薬剤師になりたいのかを考えるきっかけとなる貴重な体験でもありました。



薬局実習風景



## 6年生

卒業研究のまとめと薬剤師国家試験に向けた準備を行います。

### ●専門教育科目の履修

- 卒業研究実習
- 国家試験対策科目

## 薬剤師国家試験

平成24年に新制度の薬剤師国家試験が始まりました。問題数、特に実務系の問題が大幅に増加し、より実践に即した出題形式に変わり、問題解決能力が問われるようになりました。複合問題も多く出題され、今まで以上に科目の壁を越えた知識が要求されています。新制度における薬剤師国家試験で本学は、この5カ年で平均合格率(新卒)92.4%と全国平均を大きく上回っています。

## 薬剤師国家試験



## 博士課程

臨床薬学の研究の推進

医療、行政、教育、研究及び産業分野  
で薬学の専門家として社会へ



## COLUMN

### 南カリフォルニア大学臨床薬学研修体験記

木原 星衣 さん

東京・晃華学園高卒

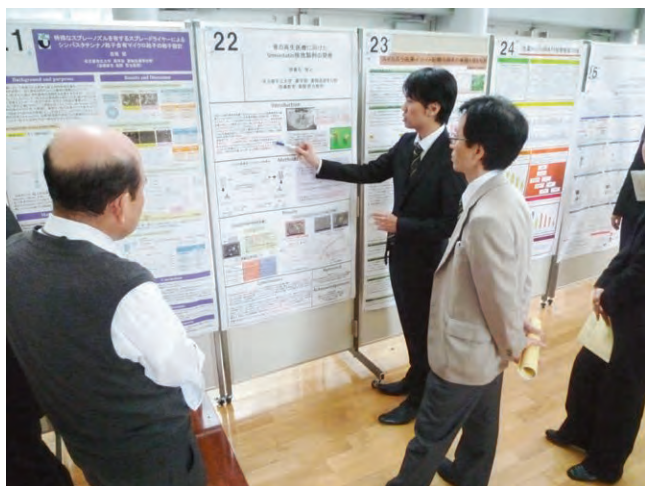
(写真左端)



私は、米国ロサンゼルスにある南カリフォルニア大学での臨床薬学研修に参加しました。

研修には、日本、韓国、中国、台湾などのアジア諸国の薬学生が約70名参加し、講義、グループワーク、薬局の見学ツアーなどが行われました。講義は、糖尿病の治療薬に焦点を当てて行われました。症例検討などの臨床的なものだけでなく、薬の立体構造から薬物動態を検討するなどの基礎科学的な講義もありました。もちろんすべての講義が英語で行われ、毎日の復習が大変でしたが、様々な視点から薬を見るという経験ができました。また、講義中のディスカッションやグループワークを通して、各国の学生と活発に意見を交換したり、各国の薬剤師の現状を知ることができました。米国の薬剤師は、治療計画の立案や処方の変更を行うなど、薬のエキスパートとして尊重され、患者の薬物治療に重い責任を担っています。現地の病院薬剤師の先生のお話を聞き、日本の薬剤師がもっと活躍していくために必要なことは何か、自分にできることは何かを深く考えさせられました。この研修を通じて、世界という広い視点から、日本の薬学教育や薬剤師の未来を考えるという貴重な機会を得ることができました。

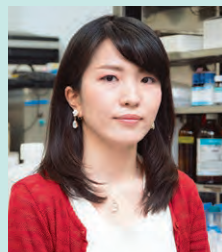




卒業研究発表会



## 在学生からのメッセージ



前田 琴美さん

千葉・渋谷教育学園幕張高卒

名市大の薬学科では、4年生に進級すると同時に全員が研究室に配属され、各々がテーマを持って研究に携わることになります。私の所属する研究室で

は、基礎研究の結果を臨床現場に応用することを目標としており、私も学部在籍中から研究に取り組んできました。3年間研究に取り組む中で、さらに専門的な研究に挑戦したいという思いが強くなり、博士課程への進学を決めました。博士号の取得を目指して研究に励むことで、日々進歩していく医療や科学に対応できる力を養いたいと考えています。

薬学部が6年制になってから10年以上が経過しており、新課程を卒業した薬剤師が続々と社会に出て活躍しています。薬剤師が活躍できる場は想像以上に広いです。名市大の薬学科には、出身も考え方も様々な学生が集まっており、日々、周囲から刺激を受けながら学生生活を送ることができます。充実した環境の中でそれぞれが自分の目標を見つけ、将来に向かって切磋琢磨しています。みなさんも、名市大の薬学部で新たな仲間と出会い、新たな目標を見つけ、刺激に満ち溢れた大学生活を送ってほしいと思います。

## 在学生からのメッセージ



玉越 知樹さん

兵庫・姫路西高卒

私が思う名市大の薬学部の良いところは先輩、後輩との距離が近いところだと思います。

キャンパスが独立していることもあり、4年次の研究室配属前から先輩と一緒に行事に携わったり、ご飯に行ったりと交流を深める機会が多くあります。研究室配属までに先輩と交流を深めることで、4年生からの卒業研究、薬学実習、就職活動と卒業後の人生に大きく関わってくるイベントの相談などをしやすい関係性を築くこともできます。私自身も、たくさんの先輩に支えて頂きながら学生生活を楽しんでいます。さて、薬学科では6年間の期間を経て、薬のスペシャリストになります。もちろん6年間の薬学の学習は大切ですが、大学生は人生で最後の学生期間でもあります。この貴重な6年間には、薬学祭などの学校イベントやサークル活動をはじめとする多くの環境で、出会いがあります。そこで出会う人たちは、自分とは違った目標や考えを持っており、たくさんの刺激を受けることができます。お互いに刺激しあい、薬学生としても、人間としても成長できる環境が、この名市大薬学部には整っていると思います。皆さんにも、この名市大薬学部で大きく成長しましょう!!





## 大学院進学について

臨床薬学の領域における研究能力をさらに高め、臨床薬学領域を国際的にリードする薬剤師・研究者を養成するために、平成24年度より4年一貫の大学院博士課程が設置されました。ここでは、より高度な専門的学術領域における知識や技能を体系的に習得するだけでなく、医療現場における様々な問題点を抽出し、それらを幅広い知識と経験により解決できる能力を培うことを目的としています。



### 大学院生からのメッセージ



#### 渡邊 崇さん

小野薬品工業株式会社  
岐阜・岐阜高卒  
H26薬学科卒業  
H29大学院博士課程入学

私は製薬会社で治験や市販後に自社医薬品によって生じた有害事象の評価・解析を行う傍ら、大学院に進学して博士号取得を目指しています。企業に属してから学生時代とは異なる観点から医薬品に関する視野が広まった反面、アカデミアの先進的な取り組みに追いつけない実情にもどかしさを感じました。医薬品の負の側面である有害事象をより効率的に検出し、患者に安全に医薬品を使用してもらうために企業のノウハウとアカデミアの先進的な取り組みをコラボレーションしたいと日に日に思うようになり、大学院博士課程への入学を決意しました。

製薬会社では世界中から有害事象情報を収集しており、そのデータを用いてどんな患者がよりリスクが高いのか、有害事象に対してどのような処置をすれば回復が早いのかといった内容を分析し、情報の発信を行っています。私たちが発信する情報を医療関係者がキャッチすることで患者により適切な治療選択が行えるのです。この「収集」と「分析」をより効率的・効果的に行える方法を見つけるために日々仕事と研究に没頭しています。

### 1 大学院での研究活動

6年制学科と同様に、研究室に所属して以下のような臨床的な課題に取り組みます。

- 実践型研究(トランスレーショナルリサーチ、レギュラトリーサイエンス、医療安全など)
- 最先端研究(様々な疾患における薬物・生物療法やその体内動態、遺伝情報に基づく個々の患者に最適な薬物療法など)

### 2 地域の医療機関との連携による臨床教育・研究のサポート体制

臨床的な教育や研究を効率的に推進するために、臨床薬学教育研究センターを中心として名古屋市立大学病院や地域の病院・薬局などの医療機関等との積極的な連携体制を整備しています。

### 3 指導的な薬剤師、臨床薬学の研究・教育者の育成

日々進歩する医療と科学技術に対応できる人材として、「博士号」を取得した薬剤師に対する社会的ニーズは、今後より一層高まっていくと思われます。また、大学などのアカデミアで教育・研究職に従事するためには、「博士号」の取得は必須です。

「博士号」取得後は、より深い専門性を身に付けた薬剤師としてだけでなく、医療に直結した研究者として、以下のような職種での活躍が期待されています。

- 大学病院などの主要な医療機関における指導的な薬剤師
- 大学における臨床薬学の教育・研究職
- 国や地方の公共団体における研究職
- ライフサイエンス関連企業(製薬、環境衛生、健康食品、医療機器等)における研究・開発職

他にも、薬剤師としての職能が求められる様々な分野をリードする人材として活躍が期待されています。





## 卒業生からのメッセージ



**沖村 里咲** さん 須田病院  
H31薬学科卒業 愛知・千種高卒

私は今、岐阜県高山市の病院に勤めています。高山市出身でも岐阜県出身でもありません。大学卒業後まもなく高山市に越してきました。このような進路を選んだきっかけは、大学生活の中で地域医療と出会ったことでした。大学在学中に高山で行われた薬学生向けの研修会に参加し、人手不足の中でも地域の方々と懸命に向き合う地方の薬剤師の存在を知りました。また、大学で地域医療に取り組む先生と出会うことができ、人口減少は地方だけでなく都市部においても大きな課題となるとの思いを強くし、これに取り組むことで患者さんはもちろん、地域や社会に貢献したいと思いました。

このような考えを大学入学前から持っていたわけではありません。薬剤師になりたいと思いつつも、薬剤師として何をしたいのかが曖昧な中で、大学内外で様々な人やものに出会ってこの思いを抱きました。私がそれらに出会えたのは、名古屋市立大学が大学の時間と課外活動の時間のメリハリを付けやすい環境であったためだと思います。大学内に豊かな出会いがあり、大学の外にも大きく世界が広がっているのが大学生活です。ぜひ、様々な人やものに出会い、大学のその先の未来を自分自身で描いてください。



**渡邊 健斗** さん 中部薬品株式会社(V・drug) 販促企画部マーケティング課  
H27薬学科卒業 愛知・菊里高卒

私は4年間ドラッグストアに併設している薬局に勤務、5年目から現在の職である販促企画部マーケティング課の本部職に転属となった薬剤師です。現在の仕事はV・drugをより知ってもらう、利用してもらうためにチラシを作ったり、ホームページやLINEアカウント、自社アプリの運営を管理するといった業務です。一見薬剤師と何の関係もないように思われがちですが、意外とそうでもありません。現場の薬剤師は薬を用意する、検査値を正確に判断するだけではなく、患者から「どう見られるか」患者に「どう伝えるか」患者が「どう感じるか」を常に意識しながら対人業務をします。顧客から「どう見られるか」顧客に「どう伝えるか」顧客が「どう感じるか」を意識しながらの現在の販売促進の業務に共通点を感じています。

私たち卒業生が身を置く薬剤師業界で現在叫ばれているのはかかりつけ薬局機能の重要性です。患者のかかりつけ薬剤師となり病気を進行させない、未病の段階で患者を救うことを使命とする薬局薬剤師にとって、患者を中心に据えた医師や看護師などとの多職種連携が必須です。名古屋市立大学は医、薬、看護学部が存在する数少ない総合大学で、低学年時から他職とのコミュニケーションの重要性を学ぶことができます。皆さんには薬学的知識だけでなくそういったスキルをぜひ習得して未来の医療業界を引っ張っていく存在になってほしいと思います。



**佐々木 瞳** さん 日本イーライリリー株式会社  
H28薬学科卒業 広島・広島大学附属福山高卒

私は、現在、製薬会社の臨床開発職として、新しい薬を世の中に送り出す仕事に携わっています。大学入学当初、私は、臨床開発職という仕事の存在すら知りませんでした。大学生活を通して多くの先輩や友人と話す中で、今の仕事と出会い、この仕事に就き、多くの患者さんを救うことに繋がる可能性を持つ、臨床開発職という仕事に心からやりがいを感じています。

また、日々の仕事の中では、治験に参加して頂いた患者さんのカルテから、治療薬の効果や副作用の有無を確認したり、薬や疾患に関して専門医と議論する場面が多くありますが、本学で学んだ「薬やサイエンスに関する専門知識」や半年間の臨床薬学実務実習により経験させて頂いた「現場感」が大きな武器となっています。

名古屋市立大学の薬学部では、薬学に関する幅広い知識を学ぶことはもちろん、様々な友人、先輩・後輩、先生方とのつながりを築くことで、新しい将来の選択肢や多くの刺激を得ることができます。皆さんも本学で学ぶことで、たくさん刺激を受け、わくわくするような将来・夢を実現してほしいと思います。



**池田 大輔** さん 厚生労働省  
H29薬学科卒業 兵庫・市立西宮高卒

みなさまが薬学部を卒業した官僚と聞いて思い浮かべるイメージは、どのようなものでしょうか。直接関わる機会も少なくイメージが浮かばないでしょうか。私自身も働きだすまでは正直なところ同じような状況でした。実際は、医療に関わる新しい政策を打ち出すために、製薬業界や各国の規制当局と議論を重ねる上では、法律に関する知識だけではなく薬学部で学んだ専門知識が欠かせません。例えば、企業が開発した新医薬品を迅速かつ適切な患者さんに届けるためには、その医薬品を正確に理解すること、医療現場のニーズを確実に理解することが求められます。自然科学と社会の架け橋を担うような仕事です。自分の考えをしっかりと持ち、様々な人や最新の知見に積極的に触れ、自分の考えを人に自信をもって伝えること、これは薬学部在学中に経験する専門講義や病院・薬局実習だけでなく、アルバイトや他大学との交流といったキャンパスライフで学んだことが生きてきます。大学生になると、今までよりも幅広く様々な経験を積む機会が得られます。みなさまが、充実したキャンパスライフを送ることができ、勉強以外にも様々な経験ができることを心から応援しております。



# 名古屋市立大学

## 薬学部

### 大学院薬学研究科



〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1 TEL (052)836-3402 FAX (052)834-9309  
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/phar>

#### ACCESS

- 名古屋駅(JR、名鉄、近鉄)から  
 地下鉄(桜通線(徳重行))「名古屋」(約17分)→「瑞穂区役所」下車、1番出口から東へ徒歩約15分
- 金山駅(JR、名鉄)から  
 市バス(金山16 瑞穂運動場東行)「金山」(約20分)→「市大薬学部」下車、徒歩1分  
 又は、(金山14 瑞穂運動場東行)「金山」(約20分)→「市大薬学部」下車、徒歩1分  
 地下鉄(名城線(左回り))「金山」(約14分)→「総合リハビリセンター」下車、1番出口から西へ徒歩約15分

#### 【募集要項の請求はこちら】

##### 1 パソコン・携帯電話から請求する場合



モバっちょ  
<http://djc-mb.jp/nagoya-cu/>



テレメール  
<http://telemail.jp/>

##### 2 郵送などで請求する場合

名古屋市立大学ウェブサイトでご確認ください  
<http://www.nagoya-cu.ac.jp>

